

令和3年度 滋賀県立陶芸の森 年報

The Shigaraki Ceramic Cultural Park
Annual Report 2021



公益財団法人 滋賀県立陶芸の森

目 次

県民に親しまれる施設運営に関する事業

公園機能の充実

陶芸作品の野外設置	1
陶芸の森ボランティアの活動	2

地域の観光拠点としての集客促進事業

しがらき学ノススメ!	2
------------	---

イベントの開催・誘致

第15回 信楽作家市 in 陶芸の森の誘致	5
第2回しがらき森のクラフトフェスタの誘致	5
第26回 信楽セラミック・アート・マーケット in 陶芸の森の開催	5
2021 わくわくウォーキング in 陶芸の森の開催	6
「信楽インスタグラムキャンペーン スカーレットのレガシーを記憶に」の実施	6
やきもので繋ぐJOMOM×未来—多彩な表現展 2021	6

財団所有作品の貸し出し	7
-------------	---

利用者拡大に向けた情報の発信	7
----------------	---

地域拠点活用事業	7
----------	---

施設の管理	8
-------	---

陶芸の森やきもの振興基金	8
--------------	---

陶芸文化の発信事業

展覧会開催事業

特別展「神業ニッポン 明治のやきもの—幻の横浜焼・東京焼—」	9
--------------------------------	---

特別企画「Human and Animal 土に吹き込まれた命 21世紀陶芸の最先端」	21
---	----

特別展「信楽窯業技術試験場移転記念展

JAPAN STYLE —信楽・クラフトデザインのあゆみ—	31
-------------------------------	----

陶芸館ギャラリー企画展	39
-------------	----

「森で生まれた驚きの技」	39
--------------	----

アーティスト・イン・レジデンス展

「台湾の作家たち—陶芸の森×台湾文化センター—」	41
--------------------------	----

子どもたちの土の造形—本物との出会いから—	42
-----------------------	----

「陶芸の森で生まれた Human and Animal」	42
------------------------------	----

陶芸の森「陶芸館 3D デジタルアーカイブ」	43
------------------------	----

博物館実習	45
陶磁ネットワーク会議への参加	46
調査研究活動	47
創作事業	
アーティスト・イン・レジデンス事業	48
スタジオ・アーティストの受け入れ	48
ゲスト・アーティストの招へい	52
アーティスト・トーク、陶芸館ギャラリー展覧会の開催	53
国内外のレジデンス機関との連携	54
国別・年度別アーティスト滞在回数	56
種別・年度別アーティスト滞在回数	57
つちっこプログラム—子どもやきもの交流事業—	
本物と出会う—総合学習プログラム	58
世界にひとつの宝物づくり	59
産業の振興に関する事業	
信楽窯業技術試験場との連携事業	60
人材育成事業	60
滋賀県立信楽高等学校への支援事業	60
若手陶器産業後継者への支援事業（デザイン活性化事業）	62
信楽産業展示館運営事業	
展覧会の開催	63
企画展　ギャラリー展示	63
その他の事業	
陶芸の森ミュージアムショップ6センス	64
資 料	
収蔵品収集実績	65
2021（令和3）年度　収蔵作品一覧	66
施設利用実績	
陶芸の森　年度別・月別入園者数	70
陶芸館　年度別・月別観覧者数	70
陶芸館展覧会別観覧者数	71
収蔵品展・特別企画展など	

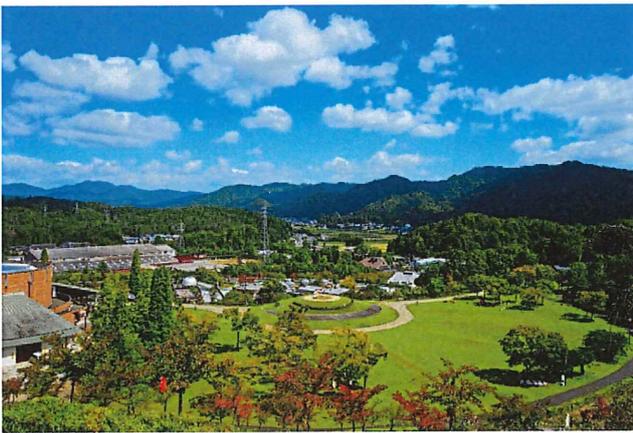
信楽産業展示館 年度別・月別観覧者数	74
信楽ホール・会議室利用件数	
沿革と記録	75
組織・名簿	77
組 織	77
公益財団法人滋賀県陶芸の森評議員名簿	78
公益財団法人滋賀県陶芸の森理事および監事名簿	79

県民に親しまれる施設運営に関する事業

公園機能の充実

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、本県においても再び緊急事態宣言が発令され、事業の中止や延期を余儀なくされる状況でしたが、太陽の広場や星の広場などを自由に楽しめるよう、公園機能の充実を図り、施設の安全性と清潔さを保ち、陶芸の森の魅力ある空間づくりに向けた新たな取り組みも試みてまいりました。

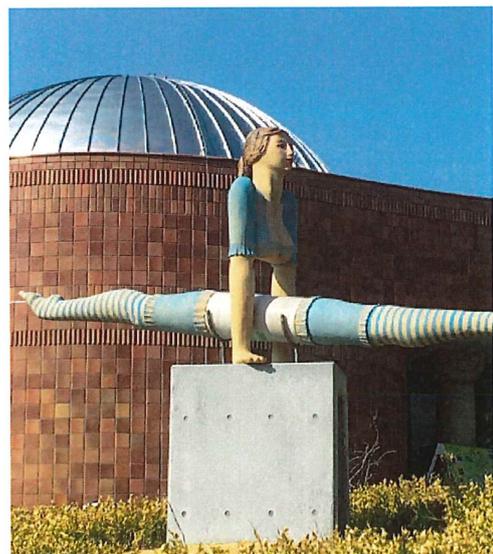
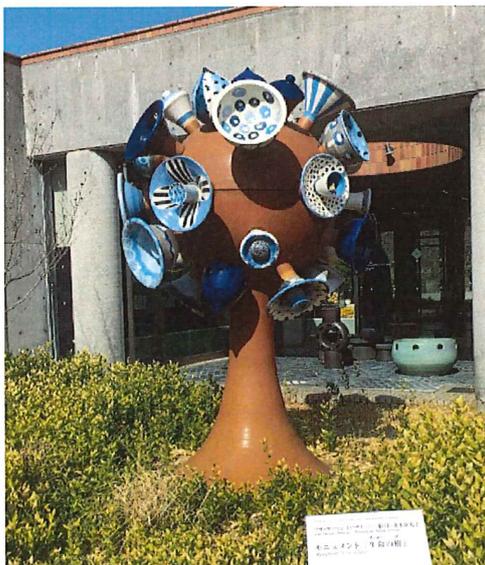
そうした中で、陶芸の森入園者数は、上述のとおり新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、令和3年度の入園者数は352,159人（令和2年度：339,892人）でした。



陶芸作品の野外設置

陶芸の森の名に相応しく、滞在した陶芸家の創作作品を野外設置し、オープン・エア・ミュージアムとして、自然の中で広く芸術作品を鑑賞できる機会を提供しました。

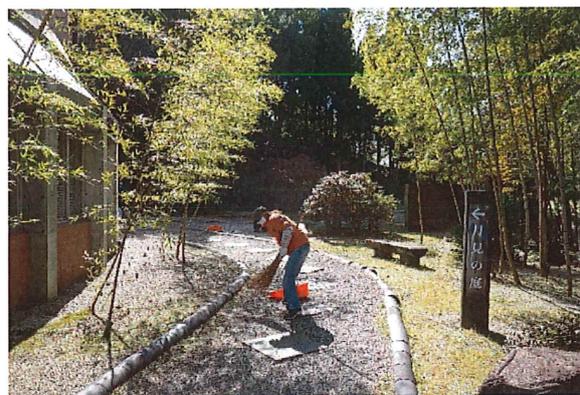
また、次年度以降、魅力ある展示エリアの再構築を計画的に進めるため、専門家の助言を得ながら準備に着手しました。



陶芸の森ボランティアの活動

来園者に対するサービス向上と陶芸文化の普及活動のため、連携授業補助、園内の案内およびPR活動、園内園芸作業など、コロナ禍対策をとりつつ、ボランティアによる活動を推進し、利用者へのきめ細やかなサービスを提供しました。

- ・令和3年度登録者数 28人（令和4年3月31日現在）
延べ活動人数 6人



地域の観光拠点としての集客促進事業

陶芸の森は滋賀県南部地域の観光拠点として、地域資源を活かしながら新規来園者やリピーターをつくることを目的とし、やきものファンに信楽をより知ってもらうために、陶器市、様々なレクリエーションイベント、また陶芸の森らしさを活かした「しがらき学ノススメ」などの各種体験講座などのイベントを開催しました。

また、コロナ感染症対策を行いつつ、甲賀市やびわこビジターズビューロー、観光協会等と連携し、陶芸の森の魅力発信をおこない、誘客促進に努めました。

しがらき学ノススメ！

陶芸初心者から経験者まで、多くの方々に陶芸の魅力を体感していただくことを目的にした事業です。地元信楽の陶芸家を講師に迎え、薪窯の魅力に触れる「穴窯・登り窯講座」や個別技法を専門的に学ぶ「技法別講座」を開講。講師の行き届いた指導とニーズに即した幅広いメニューで参加者の作陶をサポートしました。

① 技法別講座

やきものについて広く学ぶことができるよう手びねりによる器づくりや、ミニ窯づくりなど、初心者向けの講座から、一歩踏み込んだ高度な技術を伴う講座まで開催しました。

開催日	テーマ	講師	参加者数
5月16日（日）	ラク焼の茶碗をつくる	神崎 秀策	7人
5月30日（日）	壺から飛び出す花・鳥・猫 -好きなものを盛りつけよう	榎本 佳子	16人
6月6日（日）	野焼きでうつわをつくる	細川 政巳	12人
6月20日（日）	練り込みのうつわをつくる	村田 彩	15人
12月5日（土）	ミニ窯をつくる	越沼 信介	15人
3月6日（日）	ラク焼の茶碗をつくる	奥田 英山	16人

② 穴窯講座

中世古窯信楽の伝統技術・穴窯焼成を学ぶ講座。参加者の習熟度に合わせて、初級・中級・上級・焼成の4クラスに分けて実施しました。

初級講座：2kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

中級講座：5kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

上級講座：10kgの粘土で大壺を制作

焼成講座：30kgの粘土で自由制作、窯詰から焼成、窯出しまでを体験

開催日	講座種別	テーマ	講師	参加者数
10月17日（日）	初級	信楽酒器をつくる	神山 直彦	11人
10月31日（日）	中級	信楽水指、茶碗をつくる	五代 高橋 楽斎	6人
11月14日（日）	初級	信楽焼の干支をつくる	八幡 満	18人
11月20日（土）21日（日）	上級	信楽大壺をつくる	神崎 継春	9人

焼成クラス

参加者15人

焼成日：令和4年3月16日（水）～3月20日（日）

③ 登り窯講座

近世から近代における信楽焼の伝統技術のひとつ、登り窯焼成を学ぶ講座。火袋で作品を焼成しました。習熟度に合わせて、初級、中級、上級の3クラスに分けて実施しました。

初級講座：2kgの粘土を使用、自由制作

中級講座：5kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

上級講座：10kgの粘土で大壺を制作

開催日	講座種別	テーマ	講師	参加者数
9月5日（日）	初級	新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期		

9月11日（土）12日（日）	上級	新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期		
10月 3日（日）	中級	信楽壺、蹲をつくる	篠原 希	15人
10月 9日（土）10日（日）	上級	信楽大壺をつくる	藤本 秀	6人
10月10日（日）	初級	信楽焼のうつわをつくる	大西 左朗	6人

④ トレインキルン築窯講座

10月2日（土） 説明会

令和2年度に築窯したトレインキルンを焼成。窯の構造、焼成方法を学びました。

焼成：11月13日（土）、14日（日）

参加者15人



イベントの開催・誘致

やきものをテーマにした展示即売会を開催・誘致し、県内各地で活躍する陶芸家の個性豊かな陶芸作品を広く県内外の人々に紹介するとともに、来園者と陶芸作家・窯元の交流や消費を結びつける機会を創出することにより、作家活動を支援しました。

第15回 信楽作家市 in 陶芸の森の誘致

■内容 7月の連休に実行委員会形式で開催。

陶芸関係者に陶芸作品販売の機会を、また来園者には「市」のにぎわいと雰囲気を提供することができ、好評を得ました。

■日時 7月23日(金・祝)～25日(日) <3日間> 9時～17時(最終日は16時00分)

■主催 信楽作家市実行委員会

■出展者 陶芸家出展者 99件 飲食9件 来園者数 22,717人

■来園者数 22,717人

第2回しがらき森のクラフトフェスタの誘致

■内容 信楽にゆかりのある女性クリエイター達による2回目のフェスティバルを誘致。作家自らが制作した作品の販売を通じ、作り手と使い手の交流が行われました。

■日時 11月6日(土)、7日(日) (2日間) 9時～16時

■主催 しがらき森のクラフトフェスタ実行委員会

■出展者 物販ブース43件 飲食18件

■来園者数 11,064人



第26回 信楽セラミック・アート・マーケット in 陶芸の森の開催

■内容 「作品に触れ作家に触れる」をテーマに滋賀県内の陶芸を中心とする工芸家が自ら制作した作品を販売する場を、新型コロナウイルス感染症対策を十分にとったうえで提供しました。

■日時 11月26日(金)～28日(日) (3日間) 9時～16時30分(最終日は16時00分)

■主催 陶芸の森

■出展者 物販ブース 132 ブース 88件 飲食6件

■来園者数 17,939人



2021 わくわくウォーキング in 陶芸の森の開催

■内容 陶芸の森園内および周辺散策路でのウォーキングや ニュースポーツ体験を通して、陶芸の森の豊かな自然を満喫していただきました。玉桂寺駅方面へと園外の散策路を歩くコースを設定し、多数の方々に参加いただきました。

■日時 12月5日(日) 9時～12時30分

■主催 公益財団法人滋賀県陶芸の森

■協力 ぽぽんた倶楽部(総合型地域スポーツクラブ)・甲賀市スポーツ推進員

■参加者 30人

「信楽インスタグラムキャンペーンスカーレットのレガシーを記憶に」の実施

■内容：NHK朝の連続テレビ小説スカーレットの舞台となった自然豊かな信楽町を素材とした、「インスタ映え」する写真を一般募集。

■募集期間：令和3年4月1日～令和4年1月31日

■投稿数：125件

■受賞作品：金銀銅賞各1点／ホームページ発表／陶芸館パネル展示

やきもので繋ぐ JOMON×未来-多彩な表現展 2021

■内容 大型陶板や陶壁、陶板名画を制作する地元企業との連携イベントとして、貴重な文化財の複製品や縄文土器の高精細レプリカ作品の展示、土器制作のワークショップ、3D技術を活用した製作実演等を実施。

■期間 令和3年8月21日(土)～9月26日(日)

- 主催 大塚オーミ陶業株式会社
- 共催 公益財団法人滋賀県陶芸の森
- 会場 陶芸の森太陽の広場・信楽産業展示館

野外音楽イベント「SIVEL WARS」の誘致

※新型コロナウイルス感染症流行のため主催者の判断で中止

財団所有作品の貸し出し

県民に気軽に陶芸に親しんでもらえるよう、創作研修館で制作されたスタジオ・アーティストの研修作品やゲスト・アーティストの作品(財団所蔵作品)を、公共施設等に貸出しを行い、陶芸文化の普及向上に努めました。

貸出実績 6 個所 計 27作品 令和3年度は新規なし

利用者拡大に向けた情報の発信

新聞広告等の有料媒体を始め、ウェブを中心とした無料媒体への情報提供や、パブリシティ、ホームページの充実を通じて積極的な情報発信を行い、来園者の拡大に努めました。

○主な掲載・放送実績

- ・TVラジオ 14件 『おうみ発630』(NHK)、『よ〜いドン!』(関西テレビ) 他
- ・新聞 29件 『京都新聞』、『中日新聞』、『産経新聞』、『読売新聞』 他
- ・雑誌 37件 『関西ウォーカー10月号』((株)KADOKAWA) 他

○バーチャルミュージアムの充実

ポストコロナ時代に向けて、陶芸館の名品や展示作品を3D・高精彩VR映像で紹介する専用サイト「陶芸館3Dデジタルアーカイブ」を信楽窯業技術試験場の技術協力を得て開設し、令和4年3月5日(土)から公開しました。

地域拠点活用事業

まちなかギャラリーF U J I K I (旧陶喜陶苑)の運営を「F U J I K I 運営委員会」に委託し、地域に根差した施設運営に努めました。

○信楽まちなか芸術祭作品展示「アーティストによる信楽の見え方」

■期間：3年10月2日(土)～24日(日)中の土日祝日

■主催：信楽まちなか芸術祭実行委員会

○「谷井直人・藤原純2人展」

■期間：令和3年11月26(金)～28日(日)

■主催：緋色の商店街

施設の管理

陶芸の森が、地域の産業振興や文化、観光の拠点として、また、来園者にくつろいでいただける場となるよう、適切な施設の維持管理に努めました。

なお、令和3年度はコロナ禍による休館等はありませんでしたが、台風接近時には災害警戒と来園者の安全を考慮し、休園措置をとりました。

・臨時休園日 令和3年8月14日・15日

花木の植栽管理～

公益財団法人滋賀県緑化推進会様を通じ、「ゴルフ緑化協合金事業」より、シダレザクラ1本とセイヨウシャクナゲ10本を植樹していただきました。シダレザクラは第4駐車場のタヌキ付近に、セイヨウシャクナゲ10本は園内の道路沿いに植樹し、どちらも来園される方々の目につくところで、楽しんでいただけるよう景観維持に努めました。



施設の維持修繕

県の長期保全計画に基づく建物や設備の保全工事を県および事業者と調整して実施するとともに、園内および各建物にかかる所用の修繕を行い、長期的な機能確保に努めました。

陶芸の森やきもの振興基金

平成25年に創設した「陶芸の森やきもの振興基金」への寄付金をお願いするため、陶芸の森での様々な事業活動を行う中で、ご支援をいただけるよう周知活動を行いました。

陶芸文化の発信事業

展覧会開催事業

特別展「神業ニッポン 明治のやきもの―幻の横浜焼・東京焼―」

■趣 旨

近年、世界的にも熱い視線を集める日本の美術工芸。明治時代の幕開けとともに数多く輸出された日本の陶磁器は、卓越した職人技による豪華絢爛な装飾で欧米の万国博覧会において高く評価されました。1859年の開港以降、横浜港が主要な輸出地だったこともあり、横浜・東京には国内の各地から500を超える陶磁関係の業者が集まって活動を成し、陶磁器産業の中心地になります。全国の陶産地から素地を取り寄せ、輸出向けの優美で精緻を極めた絵付けや装飾を凝らした「横浜焼・東京焼」が誕生しました。輸出品という性格上、「横浜焼・東京焼」が国内に残ることは稀で、「幻の陶磁器」といわれています。

本展では、国内随一のコレクターである田邊哲人氏所蔵の里帰り作品を中心に、国内に現存する明治のやきもの優品約140点を一堂に紹介しました。横浜焼・東京焼を代表する宮川香山や井上良斎の作品をはじめ、超絶技巧で知られる「職人技」の魅力に迫りました。



■展示構成

- 序章 「～横浜開港～ 「大日本」 世界へ発信」
- 第Ⅰ章 「～万国博覧会デビュー～ 東京錦窯の誕生」
- 第Ⅱ章 「～宮川香山と井村彦次郎～
横浜焼・横浜絵付のはじまり」
- 第Ⅲ章 「～輸出陶磁器の隆盛～
東京焼・東京絵付の精華」
- 第Ⅳ章 「～驚異の横浜絵付～陶磁器商、陶磁画工の台頭」



■作品点数 約 140 点

■会 期 令和 3 年 4 月 1 日（土・祝）～6 月 6 日（日） 58 日間 （令和 2 年度からの継続）

※休館日 毎週月曜日

■観 覧 料 一般／700 円（560 円）、高大生／520 円（420 円）

*中学生以下無料（ ）内は、20 人以上の団体料金

■入場者数 5,097 人（一日平均 88 人）

■展覧会図録 『神業ニッポン展 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼』

〔サイズ〕 B5 版（横開き） 205 頁

〔内容〕 ごあいさつ／目次／文章：「幻の横浜焼・東京焼」展によせて（田邊哲人）／ようこそ、明治陶芸のワンダーランドへ—魅惑の横浜焼・東京焼—（荒川正明）／カラー図版と作品解説／横浜・東京の陶磁関係者分布地図／横浜焼・東京焼を中心とした相関図—国内の主要陶磁産地との関わりについて／東京、横浜の陶磁関係者一覧／関連年表／主要参考文献／作品リスト

■主 催 滋賀県立陶芸の森、京都新聞

■後 援 滋賀県教育委員会、甲賀市、NHK 大津放送局

■協 力 神奈川新聞社

■関 連 行 事

(1) 記念講演会「幻の横浜焼・東京焼—その魅力にせまる—」

輸出品のため、国内に現存する作品が稀で制作過程や実態に謎が多い「横浜焼・東京焼の魅力について講演しました。

〔講師〕 荒川正明氏（学習院大学教授 本展監修者）

〔日時〕 令和 3 年 4 月 25 日（日） 14：00～15：30

〔場所〕 陶芸の森 信楽産業展示館 ホール

〔参加者数〕 54 人

(2) 体験講座「壺から飛び出す花・鳥・猫—好きなものを盛り付けよう」

絵付と立体装飾が融合した迫力ある造形で注目されている、榎本佳子氏。体験講座では、榎本氏の手法に挑戦しながら、装飾うつわを作りました。※後日焼成

〔講師〕 榎本佳子氏

〔日時〕 令和 3 年 5 月 30 日（日） 10：30～16：45

〔参加費〕 5,000 円 / 対象：中学生以上 / 参加人数：16 人

〔場所〕 陶芸の森 信楽産業展示館 創作室

(3) 期間限定メニュー「芝生で奇想の和洋 BENTO ピクニック」

特別展「幻の横浜焼・東京焼」に出品されている和洋折衷の作品をイメージした期間限定奇想の和洋 BENTO を販売しました。 ※チラシ別添

〔場所〕 陶芸の森 信楽産業展示館内 ブラウン・ライス&ウォーター

※期間限定メニューを注文する方には、展示割引券（2 割）を贈呈しました。

(4) ギャラリートーク 担当学芸員による展示解説

〔日時〕 5 月 9 日（日） 14 人 / 5 月 16 日（日） 34 人

※各日とも 13:30～

(5) 展覧会出品作品を新たに開設したInstagramで紹介

陶芸の森陶芸館のInstagramを開始（3 月 25 日～）し、代表作品を会期中に紹介し、

幅広い世代にターゲットを広げて情報発信しました。6月6日までフォロワー 約390人。

(6) 3D・VR映像を活用した作品紹介

〔会期〕5月2日(日)～

〔技術協力〕滋賀県工業技術センター信楽窯業技術試験場

出品作品の2点を「3D スキャナー」で撮影した3D映像と、出品作品1点を3つの角度から(見込み、胴、底)各64カットの高精細写真を撮り、その映像を繋ぎ合わせた「360° VR」映像を会場とウェブサイト・SNSで紹介。(QRコード読み込む形式、紹介ビデオ)

(7) 成瀬誠志「陶製・陽明門」の陶片を特別展示

〔会期〕5月14日(金)～6月6日(日)

〔技術協力〕滋賀県工業技術センター信楽窯業技術試験場

本展を機に信楽技術窯業試験場で収蔵されている陶片が、シカゴ万国博覧会で受賞された成瀬誠志の「陶製・陽明門」の一部であることが判明(中津川市所蔵の陶片と蛍光X線分析装置で分析した結果)。中津川市所蔵の陶片と並べて特別展示し、報道機関向けの説明会(5月14日)を行って広報。8の新聞社に紹介され、展示後半の動員につながった。

(8) その他

〔展覧会団体説明〕4月7日(水) 信楽窯業技術試験場 研修生6人

5月26日(水) 滋賀県レイカディア大学 6人

〔信楽窯業技術試験場 研修生へのレクチャー〕成瀬誠志「陶製・陽明門」陶片の報告

5月21日(金) 15:00-16:00 試験場会議室

■掲載記事・紹介番組等

(1) テレビ・ラジオ

・4月7日(木) NHK 大津 おうみ発 630 「神業ニッポン展」

・5月26日(水) NHK 大津 おうみ発 630 「特別公開 陽明門」

(2) 新聞関係

・4月1日(木) 月刊誌 陶業時報 Zoom Up(情報トピックス) 欄

・5月14日(金) 岐阜新聞 県内版 「1893年万博受賞作陶片発見」

・5月15日(土) 神戸新聞 夕刊 「架け橋」

・5月16日(日) 京都新聞 情報ワイド 「装飾、過巻くエネルギー／現代日本の2
若手作家×学芸員が語る(上)」

・5月21日(金) 産経新聞 地域ニュース 「散逸の陶片110年ぶり再会」

・5月22日(土) 京都新聞 美術 「幻の横浜焼・東京焼／明治の超絶技巧、圧巻」

・5月23日(日) 京都新聞 一面 「散逸陶片滋賀で“再会”」

・5月23日(日) 京都新聞 情報ワイド 「ワグネル釉下彩で色に幅／現代日本の2
若手作家×学芸員が語る(下)」

・5月24日(月) 毎日新聞 滋賀版 「「陽明門」陶片を発見」

・5月26日(水) 朝日新聞 「超絶技巧 明治・現代の美／幻の横浜焼・東京焼」

・5月29日(土) 下野新聞社 文化 「散逸陶片1世紀ぶり再会」

・5月30日(日) 読売新聞 滋賀版 「「陽明門」陶片信楽に」

・6月12日(土) 中日新聞 文化芸能 「散逸した陶片滋賀で発見」

(3) 雑誌

- ・『和楽』4・5・6月号「まだまだあります！全国必見展覧会」
- ・京都新聞読者情報誌『きらっと京滋』4月号 Artscene「神業ニッポン 明治のやきもの—幻の横浜焼東京焼—／世界に羽ばたいた日本の技巧」
- ・『新美術新聞』展覧会カレンダー
- ・滋賀県情報誌『パリッシュ+』4月号
「神業ニッポン 明治のやきもの—幻の横浜焼 東京焼—」
- ・『リビング滋賀』「プレゼントコーナー展覧会紹介」(4月10日発行)
- ・『美術屋・百兵衛』57号「Preview&News」(4月14日発行)
- ・湖国文化情報誌『れいかる』4・5・6月号「ズームアップ」
- ・情報誌『甲賀フリモ』EVENT NEW / 『こんきこらぶ』EVENT NEW
- ・『家庭画報』カルチャートピックス (4月30日発行)
- ・『炎芸術』第146号「展覧会プレビュー」(5月1日発行)
- ・『ギャラリー』5月号「Schedule Museum」
- ・『陶説』5月 第816号「森谷美保「明治期横浜の陶磁器商「井村彦次郎商店」」
- ・『Seoul Art Guild』(No.233)「Japan Exhibiton Now」
- ・『月刊アートコレクターズ』5月号「今月の展覧会ガイド」
- ・『陶説』8月 第819号「袿洙浄「成瀬誠志の「陶製・陽明門」と信楽」

(4) インターネット

ウェブ美術手帳、インターネットミュージアム、京都 cf!、アート&イベントサイト〔ことしるべ〕(京都新聞)、Musca ((株)ビーシャープ)、イベントスクランブル、IDENTITY、トレミー、ビズハック!、朝日新聞デジタル&M、毎日新聞、@Press、LINE ニュース、えんうち、ニコニコニュース、Artscape、おでかけ MOA、におねっと、信楽町観光協会、ぶらっと信楽 web、信楽陶燿会 HP、関西文化.com、日本美術倶楽部、ArtShow.jp、Art inn、ぶらっと信楽 web、JDN、個展ナビ、彩里陶材、滋賀文化のススメ、陶芸 ZANMAI、Street Art Navi、CAFE Voyage、陶業時報、@nifty ビジネス、Ba-ter.News、BIGLOBE ニュース、bizocean※、BREAK TIME NEWS、Business Times、Catch Our News、Dokka お出かけ探検、DIGINEWS、Django、Every Life、Excelletor、excite.ニュース、GOOD LUCK NEWS、Increment Timeline、Infoseek ニュース、Jungle!、News Create、Ordinal、REGUTAR、rentaloffice.bz、SankeiBiz、SANSPO.COM、SEOTOOLS、Skylish News、StartHome、Tomorrow with you、WAKUWAKU POST、You Know News、zakzak、いっしょのニュース、おたにゅー!、とれまがニュース、インディー、オイシール、クイックオーダー、コミュニティ・ポスト、トラベロ、ニュース・アニマルズ、フーード!!!、プリモ、ロイター.co.jp、徳島新聞 Web、東京ビューティー、財経新聞、Culture Post、全国イベントガイド、今見られる全国お勧め展覧会 100、チラシミュージアム (e+)、NHK NEWS WEB、産経電子版、カナロコ、共同通信と地方紙、陶芸の森 HP/Instagram/FB/twitter

(5) ミュージアムショップ

展覧会出品作品の森村組を前身とするノリタケカンパニーリミテドは、明治時代から現在まで続く日本を代表する陶磁器メーカーである。そのオマージュコレクションなど、華やかなティーアイテムを中心に紹介するほか、横浜中華のガチャガチャ、ピクニックなどに活躍できるカトラリーなど、楽しいアイテムもそろえて販売。加えて、やきもの産地の特性を生かしたものを販売

したが、まず本展の擬人化されたカエルモチーフの作品等にちなんで、信楽作家による限定のカエル陶器ビーズ（信楽透器を使用）を付けた、陶芸の森オリジナル手作りマスクを販売。

■作品リスト

Cat.no.	新作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘(記述なしは高台内)	所蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径(幅)×底径
序章「～横浜開港～「大日本」世界へ発信」								
1	高浮彫牡丹二眠猫覚醒大香炉	Incense burner	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛香山造」	田邊哲人コレクション(横浜美術館寄託)	明治時代前期	29.7×14.5×22.7×14.1
2	色絵木菟文足付花瓶	Vase	井村彦次郎 絵付:瓢池園	Imura Hikojiro Hyochien	「明治十二年十二月大日本横濱應井村君需東京瓢池園製」	田邊哲人コレクション	1879(明治12)年	34.7×10.0×19.8×11.6
3	色絵菊花文耳付花瓶	Vase	田代屋	Tashiroya	「田代」	田邊哲人コレクション		45.6×5.0×15.3×12.2
4	高浮彫雲龍花瓶	Vase	井上良斎	Inoue Ryosai	「井上良斎」	田邊哲人コレクション		45.0×15.5×26.3×14.5
5	色絵烏瓜文耳付花瓶(対)	Pair of vases	瓢池園	Hyochien	「第五十二番 日本東京瓢池園製」	田邊哲人コレクション		各 30.8×13.0×16.3×9.7
6	色絵龍宮乙姫文鉢	Bowl	成瀬誠志	Naruse Seishi	「陶博園」(高台内)、「陶博園」(見込み)	田邊哲人コレクション		高5.2×径14.3
7	色絵楼閣山水文蓋物(対)	Pair of lidded jars	成瀬誠志	Naruse Seishi	「大日本東京陶博園成瀬」成瀬	田邊哲人コレクション		各 総高10.3×最大径8.7×底径3.6
9	色絵天狗文花瓶	vase	濤川窓助 素地:初代川本樹吉	Sosuke Kawamoto Masukichi I	「川本樹吉製 日本東京④濤川製」	田邊哲人コレクション		38.7×10.8×17.3×11.6
10	色絵鉄線蝶文花瓶(対)	Pair of vases	滝藤萬次郎	Takito Manjiro	「大日本 瀧藤製」	田邊哲人コレクション		各 37.2×15.7×25.5×13.0
11	色絵鷺文手付瓶	Vase	錦光山宗兵衛	Kinkozan Sobei	「錦光山造」	田邊哲人コレクション		41.7×10.2×19.1×9.4
12	色絵人物花鳥文大花瓶(対)	Pair of vases	酢屋久平 絵付:山田久録	Suya Kyuhei Yamada Kyuroku	「加賀國 酢庵製 山田画」	田邊哲人コレクション		各 61.7×28.8×35.5×18.7
13	色絵花鳥文輪花長皿	Large dish	帯山与兵衛	Taizan Yohei	「大日本 帯山製」「帯山」	田邊哲人コレクション		高6.4×径(26.7×65.1)
14	色絵花鳥文碗	Bowl	藪明山	Yabu Meizan	明山	田邊哲人コレクション		高7.2×口径12.3×底径5.7
第1章「～万国博覧会デビュー～ 東京錦窯の誕生」								
16	染付金彩秋草文碗・皿	Cup and saucer	素地:加藤繁十 絵付:東京錦窯	Kato Shigezyu Tokyo Kingama	碗:「東京錦窯 百廿三号」、皿:「大日本瀬戸加藤繁十製」	田邊哲人コレクション	1873(明治6)年頃	碗:高6.0×口径5.7×最大径8.0×底径3.2 皿:高1.9×径10.0
17	色絵新羅三郎文花瓶	Vase	東京錦窯 絵付:晴圃	Tokyo Kingama Seiho	「東京錦窯 晴圃画」「明治七年 十一月印之 三百六十一号」	田邊哲人コレクション	1874(明治7)年	35.2×11.0×14.4×6.9
18	色絵曲水の宴文花瓶	Vase	東京錦窯 絵付:小林南圃	Tokyo Kingama Kobayashi Nanpo	「東京錦窯 小林南圃画」「百六十四号」	田邊哲人コレクション	1873(明治6)年頃	37.2×14.2×17.6×12.0
19	色絵武者文耳付大花瓶	Vase	陶々舎	Totosha	「東京 陶々舎画」	田邊哲人コレクション		53.1×19.7×21.4×18.5
20	色絵武者文耳付花瓶	Vase	東京錦窯 絵付:松本芳延	Tokyo Kingama Matsumoto Yoshinobu	「東京錦窯 芳延画」「六十八号」	田邊哲人コレクション	1873(明治6)年頃	38.1×13.6×16.0×11.9
21	色絵人物文六角花瓶	Hexagonal vase	松本芳延	Matsumoto Yoshinobu	「大日本東京 芳延画」	田邊哲人コレクション		29.5×6.1×17.2×底径(11.8×10.5)
22	鍾馗像	Shouki	松本芳延	Matsumoto Yoshinobu	「日本東京 芳延画作」	田邊哲人コレクション		高22.5×幅16.5×奥行15.3
23	色絵花鳥文皿	Dish	瓢池園 素地:山口幸太郎 絵付:山本琴嶺	Hyochien	「東京 瓢池園製」「山幸」「琴嶺」	田邊哲人コレクション		各 高3.0×径21.4
24	色絵茸採取文皿	Dish	素地:芳国社 絵付:瓢池園	Hokokusha Hyochien	「椿堂迂史寫」「瓢池園画 芳国社製」	田邊哲人コレクション		高3.5×径24.7
25	色絵花鳥文陶板	Tile	瓢池園	Hyochien	「日本 瓢池園画」「百十九」	田邊哲人コレクション		各 厚0.6×縦11.8×横8.2
26	色絵紅葉山水文耳付花瓶	Vase	素地:深海墨之助(年木庵喜三) 絵付:瓢池園	Fukaumi Suminosuke(Toshikiyan Yoshizo) Hyochien	「第三百六十七号 日本東京 瓢池園画」「喜三製」	田邊哲人コレクション	1876(明治9)年頃	23.9×8.9×11.7×9.0

Cat.no.	新作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘(記述なしは高台内)	所蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径(幅)×底径
28	釉下彩遊禽図皿	Dish	ゴットフリート・ワグネル(旭焼)	Gottfried Wagner	「旭焼」	個人蔵		高5.0×径52.0
29	釉下彩雀文陶板	Tile	ゴットフリート・ワグネル(旭焼)	Gottfried Wagner	「大日本東京深川区東元町旭焼製造所 TOKYO JAPAN JU」	田邊哲人コレクション		厚1.1×縦15.1×横15.1
第二章「～宮川香山と井村彦次郎～ 横浜焼・横浜絵付のはじまり」								
30	色絵羅漢文耳付花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛香山造」	田邊哲人コレクション		37.0×13.5×16.0×12.5
31	色絵秋草文耳付花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛香山造」	田邊哲人コレクション		36.8×7.8×15.9×9.3
32	色絵武帝・西王母文耳付花瓶(対)	Pair of vases	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛香山造」	田邊哲人コレクション		各 44.0×13.0×17.6×12.0
33	色絵亀文花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「己巳涼月葛香山長兄藕園主人写之」「眞葛香山造」	田邊哲人コレクション		36.5×8.9×17.7×10.7
34	色絵翡翠河骨文花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛香山造」「眞葛窯東湖寫」	田邊哲人コレクション		36.4×9.9×17.6×11.7
35	色絵御簾梅鶯文花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan		田邊哲人コレクション		29.6×10.6×19.3×9.5
36	高浮彫釣り花入猫図花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛窯香山造」	田邊哲人コレクション		40.6×10.0×19.5×10.8
37	色絵扇面散文碗・皿	Cups and saucers	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛窯香山造」	田邊哲人コレクション		各碗:6.3×6.6×8.6×3.4 各皿:高2.2×径12.0
38	色絵山水文碗・皿	Cup and saucer	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛窯香山造」	田邊哲人コレクション		碗:6.7×6.5×8.8×3.3 皿:高2.0×径10.4
39	高浮彫桜二群鳩大花瓶(対)	Pair of vases	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛香山造」	田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)	明治時代前期	各 56.5×20.2×26.0×20.6
40	高浮彫群禽花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「呉石 香山」「濤責」「樸停画」	田邊哲人コレクション		45.1×12.7×28.0×13.2
41	高浮彫桜鷺足付大花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛香山造」「玉娥画」	田邊哲人コレクション		高65.9×口径23.4×底径41.0
42	高浮彫四窓遊蛙獅子鈕蓋付壺(対)	Pair of lidded jars	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛香山造」	田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)	明治時代前期	各 35.0×20.3×胴径(26.6×26.8)×15.2
43	高浮彫長命茸採取大花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛」	田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)	明治時代前期	高52.3×径22.5
44	高浮彫菊花蓋付壺	Lidded jar	宮川香山	Miyagawa Kozan	「香山」「眞葛」「碧峰画」	田邊哲人コレクション		31.3×20.2×28.4×11.4
45	高浮彫遊蛙足付花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「香山」「眞葛」	田邊哲人コレクション		31.7×12.6×24.2×9.0
46	高浮彫鴨遊泳ランプ台	Lamp stand	宮川香山	Miyagawa Kozan	「香山」「眞葛」「碧峰画」	田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)	明治時代前期	総高75.2×径19.5
47	高浮彫枯蓮鴨皿	Dish	宮川香山	Miyagawa Kozan	「香山」	田邊哲人コレクション		高6.1×径33.6
48	釉下彩紫陽花図花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛窯香山製」	田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)	1897(明治30)年	30.5×13.0×22.5×10.0
49	釉下彩白盛鶏図大花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛窯香山製」	田邊哲人コレクション(横浜美術館寄託)	明治時代中期～後期	61.7×23.8×39.6×15.5

Cat.no.	新作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘(記述なしは高台内)	所蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径(幅)×底径
50	窯変獅獅子耳付花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山」	田邊哲人コレクション		34.0×28.1×54.5×21.2
51	青磁船形花入	Boat-shaped vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛」	田邊哲人コレクション		高14.8×口径(30.7×7.6)×胴径(46.7×12.1)×底径(22.4×5.3)
52	釉裏紅群鯉文水注	Jag	宮川香山	Miyagawa Kozan	「大日本香山製」	田邊哲人コレクション		高15.5×口径(3.2×6.2)×胴幅(8.2×19.6)×底径(4.1×7.3)
53	釉下彩白蓮文花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山製」	田邊哲人コレクション		27.5×6.9×14.3×9.0
54	高取釉高浮彫蟹花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛」	田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)	1916(大正5)年	33.7×40.8×36.3×15.1
55	色絵花鳥文瓢形耳付花瓶	Vase	井村彦次郎 素地:初代川本樹吉	Imura Hikojiro Kawamoto Masukichi I	「瀬戸川本樹吉精造」 「日本横濱井村造」	田邊哲人コレクション		45.0×13.8×22.8×15.2
56	色絵花鳥文花瓶(対)	Pair of jar	井村彦次郎 絵付:山本祥雲	Imura Hikojiro Yamamoto Syoun	「日本横濱 井村製造」 「祥雲」	田邊哲人コレクション		各 37.0×13.5×23.9×12.5
57	色絵花鳥文蓋付壺(対)	Pair of lidded jars	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		各 39.3×胴径25.6×底径10.5
58	色絵花鳥図屏風文花瓶(対)	Pair of vases	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		各 36.8×10.9×20.0×6.8
59	色絵飛雁文花瓶(対)	Pair of vases	井村彦次郎 絵付:南畝、柳盛	Imura Hikojiro Nanpo Yanagihashi	「井村造 南畝」 「井村造 柳盛」	田邊哲人コレクション		各 31.7×口径(5.0×7.4)×胴径(13.6×14.2)×底径(9.2×10.2)
60	青磁色絵文房飾文耳付花瓶(対)	Pair of vases	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		各 30.4×口径(8.0×8.0)×10.5×底径(5.9×6.0)
61	色絵扇面散文耳付大花瓶	Vase	井村彦次郎 素地:帯山与兵衛	Imura Hikojiro Taizan Yohei	「大日本横濱 井村製釉」 「帯山」	田邊哲人コレクション		75.6×24.7×28.6×18.5
62	色絵竹雀文花瓶	Vase	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		19.4×12.1×19.2×11.0
63	色絵花鳥文蓋付壺	Lidded jar	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		総高34.5×最大径27.0×底径15.5
64	色絵花鳥文耳付花瓶(対)	Pair of vases	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本 横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		各 12.1×6.7×8.2×6.3
65	色絵遊亀文耳付花瓶(対)	Pair of bowls	井村彦次郎 素地:加藤繁十	Imura Hikojiro Kato Shigezyu	「大日本瀬戸 加藤繁十製」 「横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		各 15.6×11.4×12.6×8.7
66	色絵花鳥文瓢形花瓶(対)	Pair of vases	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		各 35.4×2.5×19.0×9.6
67	色絵群鶴文花瓶(対)	Pair of vases	井村彦次郎 絵付:伊奈月仙	Imura Hikojiro Ina Gessen	「大日本 横濱 井村製月仙画」	田邊哲人コレクション		各 30.0×9.7×15.9×8.6
68	色絵花鳥文花瓶	Vase	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		27.9×10.5×15.8×8.0
69	色絵鳳凰文輪花台鉢	Compote	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製造」	田邊哲人コレクション		高13.5×口径22.5×底径12.1
70	色絵菊花文楕円大皿	Large dish	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		高6.5×径(38.5×57.3)
71	色絵菊花文碗・皿	Cups and saucers	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本 井村造」	田邊哲人コレクション		各碗:高4.8×口径9.8×底径4.1 各皿:高2.0×径13.5
72	色絵群鶴文長皿	Large dish	井村彦次郎 素地:加藤善治	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」 「善治」	田邊哲人コレクション		高5.5×口径(60.0×26.2)
73	色絵花鳥文輪花台鉢	Compote	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本 井村造」	田邊哲人コレクション		高6.3×口径22.5×底径14.7
74	色絵粟鴉文皿	Dish	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		高1.9×径21.2
75	色絵琴棋書画文変形皿	Dish	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」 「DEPOSE」 「4」	田邊哲人コレクション		高1.6×径22.1
76	色絵团扇文台鉢(対)	Compotes	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製造」	田邊哲人コレクション		各 高13.7×口径21.9×底径9.6
77	色絵花鳥文蓋付ソース入	Sauce boat	井村彦次郎 絵付:高山一二	Imura Hikojiro Takayama Ichiji	「日本横濱 井村製 高山画」	田邊哲人コレクション		16.2×口径(10.7×18.4)×最大径(15.6×23.5)×底径(9.9×14.6)

Cat.no.	新作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘(記述なしは高台内)	所蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径(幅)×底径
78	色絵人物文碗・皿、鉢	Cups and saucers	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		各碗:高6.5×口径6.2×底径6.1 各皿:高2.4×径(11.5×11.4) 鉢:高9.3×径(10.2×9.8)
79	色絵山水人物文陶板	Tile	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		縦25.7×横37.1
80	色絵花鳥文足付鉢	Footed bowl	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「井村製 日本 横濱」	田邊哲人コレクション		高11.2×口径27.9

第三章「～輸出陶磁器の隆盛～東京焼・東京絵付の精華」

81	色絵人物文足付香炉	Incense burner	成瀬誠志	Naruse Seishi	「陶博園」	田邊哲人コレクション		総高22.2×最大径14.2
82	色絵人物風景文蓋付小壺	Jar	成瀬誠志	Naruse Seishi	「陶博園 成瀬製」	田邊哲人コレクション		総高11.7×最大径8.7×底径5.7
83	色絵遊猿文皿	Dish	成瀬誠志	Naruse Seishi	「陶博園」	田邊哲人コレクション		高4.2×径23.6
84	色絵人物花鳥文花瓶	Vase	濤川惣助 絵付:曾我徳丸	Namikawa Sosuke Soga Tokumaru	「大日本東京(株) 濤川製 曾我徳丸画」	田邊哲人コレクション		37.1×12.5×20.2×14.0
85	色絵葡萄鳥文耳付花瓶(対)	Pair of vases	濤川惣助 絵付:酒井有山	Namikawa Sosuke Yuzan	「日本東京 濤川製 有山画」	田邊哲人コレクション		各 27.2×6.4×14.6×11.6
86	色絵人物花鳥文花瓶	Vase	濤川惣助	Namikawa Sosuke	「日本東京 濤川製」	田邊哲人コレクション		41.6×15.0×25.3×12.3
87	色絵陶磁器文花瓶	Vase	井上良斎	Inoue Ryosai	「井上良斎」	田邊哲人コレクション		44.3×14.2×25.3×13.8
88	色絵遊蛙文花瓶	Vase	井上良斎	Inoue Ryosai	「大日本東京井上良斎」	田邊哲人コレクション		26.2×11.8×15.8×9.9
89	釉下彩紫陽花文花瓶	Vase	二代井上良斎	Inoue Ryosai II	「井上良斎」	田邊哲人コレクション		37.4×16.0×22.4×14.0
90	釉下彩鯉文花瓶	Vase	二代井上良斎	Inoue Ryosai II	「井上良斎」	田邊哲人コレクション		37.7×15.5×23.5×11.8
91	色絵花鳥文蓋付壺	Lidded jar	二代井上良斎	Inoue Ryosai II	「大日本東京井上良斎」	田邊哲人コレクション		総高17.9×最大径18.8×底径11.8
92	高浮彫雲龍瓢形大花瓶	Vase	原婿山	Hara Gozan	「原婿山」	田邊哲人コレクション		61.5×13.0×29.0×22.2
93	相撲人形	Figurine	石黒香香	Ishiguro Koko	「石黒香香」「記念浅草国技館」	田邊哲人コレクション		高18.2×幅18.0×奥行11.5
94	高浮彫蟹耳付壺	Vase	石黒香香	Ishiguro Koko	「石黒香香」	田邊哲人コレクション		13.4×口径(15.0×7.2)×胴径(17.4×11.5)×底径(12.9×7.8)
95	釉下彩猫に蠶螂図花瓶	Vase	加藤友太郎	Kato Tomotaro	「友玉園 陶壽製」	岐阜県現代陶芸美術館	明治時代後期	高51.0×最大径31.0
96	釉下彩菖蒲鯉図花瓶	Vase	加藤友太郎	Kato Tomotaro	「友玉園 陶壽製」	岐阜県現代陶芸美術館	明治時代後期	高55.5×最大径30.0
97	釉下彩鯉文洗面器	Basin	加藤友太郎	Kato Tomotaro	「友玉園製」	田邊哲人コレクション		高12.8×口径(41.5×38.5)×底径(20.6×15.5)
98	釉下彩鯉文水差	Ewer	加藤友太郎	Kato Tomotaro		田邊哲人コレクション		高22.7×口径(17.7×11.5)×幅24.5×底径(11.3×9.4)
99	色絵秋草文花瓶(対)	Pair of vases	アーレンス社 素地:加藤三平	H.Ahrens & Co. Kato Sanpei	「瀬戸 加藤三平製」「東京アーレンス社」「十七」「二捨四」	田邊哲人コレクション		各 21.9×8.8×12.3×9.0
100	色絵雀文竹形花瓶(対)	Pair of vases	アーレンス社	H.Ahrens & Co.	「東京 アーレンス社」	田邊哲人コレクション		各 27.9×12.0×10.5×7.7
101	染付牡丹唐草文水盤	Basin	アーレンス社	H.Ahrens & Co.	「東京 アーレンス社」	田邊哲人コレクション		高11.5×口径(32.0×21.2)×底径(27.0×17.0) 四脚
102	色絵葡萄文燭台(対)	Pair of vases	素地:丹山陸郎 絵付:小花萬右衛門(一楽)	Tanzan Rikuro Obana Manemon (Takiwaka)	「東京 一楽画」「丹山」	田邊哲人コレクション		各 33.2×2.6×12.5×9.3
103	色絵花鳥文大花瓶(対)	Pair of vases	新村留蔵	Niimura Tomezo	「大日本東京 新村製」	田邊哲人コレクション		各 31.0×7.8×11.6×6.9
104	色絵人物文花瓶(対)	Pair of vases	柳橋秀悦	Yanahashido	「東京芝 老与堂 柳橋造」	田邊哲人コレクション		各 15.6×6.2×7.8×6.0
105	色絵人物文耳付花瓶	Vase	柳橋秀悦	Yanahashi Hideyoshi	「柳橋秀悦造」「東京品川」「ステーションマエ」	田邊哲人コレクション		19.1×11.4×11.7×7.1

Cat.no.	新作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘(記述なしは高台内)	所蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径(幅)×底径
106	色絵人物文花瓶	Vase	田中	Tanaka	「大日本東京 田中製」	田邊哲人コレクション		17.0×9.1×12.4×9.1
107	色絵牡丹文花瓶	Vase	ディーキン商会 絵付:田中	Deakin Company Tanaka	「大日本東京 田中製」 「B.V.S. DEAKIN 1885」	田邊哲人コレクション	1885(明治18)年	10.9×3.1×6.0×3.1
108	色絵枯蓮水禽文鉢	Bowl	絵付:雲晃	Uncho	「雲晃画」	田邊哲人コレクション		高4.7×口径14.1×底径5.8
109	色絵金彩獅子牡丹文皿	Dish	森村組 絵付:藤村與兵衛	Morimura-gumi Fujimura Yohei	「藤村」	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	1884-90(明治17-23)年	高2.3×径18.7
110	瑠璃金盛唐草文皿	Dish	森村組 絵付:杉村作太郎	Morimura-gumi Sugimura Sakutaro	「杉村」	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	1884-90(明治17-23)年	高2.3×径18.4
111	色絵花鳥文皿	Dish	森村組 絵付:井口昇山	Morimura-gumi Iguchi Shozan	「昇山」	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	1884-90(明治17-23)年	高2.3×径18.4
112	色絵花鳥文花瓶(対)	Pair of vases	錦龍軒 絵付:壽々喜鶏齋	Kinryuken Suzuki Keisai	「大日本東京 錦龍軒製 壽々喜鶏齋」	田邊哲人コレクション		各 42.2×12.3×17.5×10.1

第IV章「～驚異の横浜絵付～ 陶磁器商、陶磁画工の台頭」

113	色絵花鳥文花瓶	Vase	田代屋	Tashiroya	「横濱 田代」	田邊哲人コレクション		36.3×12.7×20.2×10.5
114	色絵旭日鶴文皿	Dish	田代屋	Tashiroya	「日本横濱 田代製造」	田邊哲人コレクション		高2.7×径23.2
115	色絵花蝶文花瓶	Vase	田代屋	Tashiroya	「田代造」	田邊哲人コレクション		24.3×2.5×8.3×6.9
116	色絵煎茶具文花瓶	Vase	開洋社 絵付:對翠樓雅友	Kaiyosha Tsuisuiro Masatomo	「日本 開洋舎製」 「横浜港開洋舎製 對翠 橋雅友画之」	田邊哲人コレクション		19.4×7.4×11.8×6.2
117	色絵花鳥文大花瓶	Vase	滝藤萬次郎 絵付:大塚如真	Takito Manjiro Otsuka Joshin	「大日本 瀧藤製 画工 大塚如真」	田邊哲人コレクション		62.8×2.8×34.0×21.4
118	色絵花鳥文瓢形瓶	Gourd-shaped vase	綿野吉二	Watano Kichiji	「九谷 綿野製」	田邊哲人コレクション		43.6×4.2×13.5×7.9
119	色絵花鳥文花瓶	Vase	綿野吉二 絵付:北招	Watano Kichiji Hokusho	「加賀九谷 綿野製造 北招画之」	田邊哲人コレクション		24.5×6.4×12.4×8.8
120	色絵蝶文碗・皿	Cups and saucers	綿野吉二	Watano Kichiji	「綿野製」	田邊哲人コレクション		各碗:高5.0×口径4.8×底径2.8 各皿:高1.7×径10.5
121	色絵花散文輪花碗・皿	Cup and saucer	綿谷平兵衛	Wataya Heibei	「加賀國 綿谷製」	田邊哲人コレクション		碗:高5.4×口径6.6×底径4.0 皿:高1.9×径12.9
122	色絵花鳥文碗・皿	Cups and saucers	日光商店	Nikko Company	「日光造」	田邊哲人コレクション		各碗:高6.3×口径5.3×底径3.3 各皿:高2.0×径11.7
123	色絵酢漿草文皿	Dishes	鎮導真達 素地:京都陶器会社	Kyoto toki and Co. Chindo Shintatsu	「大日本横濱 鎮導造 之」商標 京都陶器會 社」	田邊哲人コレクション		各 高2.3×径23.2
124	色絵菊花文輪花碗・皿	Cup and saucer	鎮導真達	Chindo Shintatsu	「チンドウ造」「笑閑製 造」	田邊哲人コレクション		碗:高3.7×口径8.4×底径4.6 皿:高2.3×径12.3
125	色絵人物文花瓶	Vase	保土田太吉 素地:沈壽官 絵付:芳舟	Hotoda Takichi Chin Jukan Hoshu	「日本横濱 保土田造」 「芳舟画」「薩摩 壽官」	田邊哲人コレクション		37.2×13.6×18.5×11.0
126	色絵人物文花瓶	Vase	保土田太吉	Hotoda Takichi	「横濱 保土田造」	田邊哲人コレクション		37.3×12.9×17.8×底径(13.3×11.3)
127	色絵龍鳳文手付瓶	Vase	保土田太吉 素地:沈壽官 絵付:旭玉堂	Hotoda Takichi Gyokuhodo	「大日本帝国 横濱保土 田商店 東京旭玉堂製」 「サツマ 壽官」	田邊哲人コレクション		16.0×4.0×16.3×8.6
128	染付波千鳥文輪花皿	Dish	トーマス・B・ブロー	Thomas・B・ Blow	「明治廿九年三月廿五 日 トーマス・ビ・ブロー」	田邊哲人コレクション	1906(明治39)年	高4.2×径24.1
129	色絵人物文鉢	Bowl	トーマス・B・ブロー	Thomas・B・ Blow	「トーマス・ビ・ブロー 久 家行列」	田邊哲人コレクション		高5.3×径10.7

Cat.no.	新作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘(記述なしは高台内)	所蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径(幅)×底径
130	色絵人物文茶器セット(ポット、砂糖壺、ミルク入れ、小皿、中皿、鉢、碗・皿)	Tea set	クーン&コモル商会	Kuhn & Komor and Co.	「KUHN&KOMOR クーン&コモル 香港神戸及横濱」「日本横浜 横濱造」	田邊哲人コレクション		ポット:総高19.6×最大径19.8 砂糖壺:総高13.8×最大径14.7 ミルク入れ:総高13.8×最大径:13.7 各小皿:高2.2×径18.5 各中皿:高2.4×径21.5 鉢:高9.1×口径9.8 各碗:高6.2×口径9.3×底径4.7
131	色絵金彩風景図長皿	Dish	山下民松 素地:アピランド社	Yamashita Minmatsu Haviland and Co.	「大日本横濱 山下造」 「H&Co.L」	個人蔵	明治時代前期	高8.6×横60.4×縦19.8
132	色絵蝶山水文輪花皿	Dish	山下民松	Yamashita Minmatsu	「大日本横濱 山下造」	田邊哲人コレクション		高2.8×径23.2
133	色絵人物文陶板	Tile	山下民松	Yamashita Minmatsu	「日本横濱 山下造」	田邊哲人コレクション		縦21.5×横21.5
134	色絵山水文皿	Dish	山下民松	Yamashita Minmatsu	「山下造」	田邊哲人コレクション		高2.1×径27.3
135	色絵羅漢文碗・皿	Cup and saucer	北川喜作	Kitagawa Kisaku	「北川造」	田邊哲人コレクション		碗:5.5×4.1×4.9×2.9 皿:高2.2×径10.8
136	色絵蝶文輪花碗・皿	Cup and saucer	北川喜作	Kitagawa Kisaku	「日本横濱 北川造之」	田邊哲人コレクション		碗:高5.0×口径9.0×底径4.6 皿:高1.7×径13.8
137	色絵秋草文茶器セット(ポット、砂糖壺、ミルク入れ、小皿、碗・皿)	Tea set	川戸房次郎	Kawado Fusajiro	「日本横濱 川戸造之」	田邊哲人コレクション		ポット:総高20.1×最大径:21.7 砂糖壺:総高13.6×最大径17.1 ミルク入れ:総高17.8×最大径12.1 各小皿:高2.3×径18.4 各碗:高4.8×口径9.2×底径4.0
138	色絵花鳥文碗・皿	Cup and saucer	中村鎗次郎	Nakamura Yarijiro	「日本横濱 中村造之」	田邊哲人コレクション		碗:高5.5×口径8.4×底径4.1 皿:高2.0×径13.2
139	色絵花鳥文碗・皿	Cups and saucers	塩谷加太郎	Shioya Kataro	「塩谷造」	田邊哲人コレクション		各碗:高4.7×口径9.2×底径3.8 各皿:高2.2×径13.2
140	色絵花鳥文隅切皿	Dishes	上木堂 素地:山半	Uekido	「上木堂造」「山半」	田邊哲人コレクション		各 高3.4×径(21.5×18.6)
141	色絵魚貝文茶器セット(ポット、碗・皿)	Cups and saucers	高坂藤右衛門	Kosaka Toemon	「大日本 高坂造」	田邊哲人コレクション		ポット:総高19.2×最大径20.5 各碗:高4.9×口径9.1×底径3.8 各皿:高2.2×径11.5
141-2	色絵魚貝文ポット	Pot	高坂藤右衛門	Kosaka Toemon	大日本 高坂造	田邊哲人コレクション		総高:19.7 口径:6.6 幅(20.5×13.5) 底径:7.0 蓋6.5×7.4×6.1
142	色絵金魚文碗	Bowl	高坂藤右衛門	Kosaka Toemon	「日本 高坂造」	田邊哲人コレクション		高7.2×口径15.1×底径6.9
143	色絵忠臣蔵文茶器セット(ポット、砂糖壺、ミルク入れ、小皿、中皿、碗・皿)	Tea set	島田金次郎	Shimada Kinjiro	「日本横濱 嶋田造之」	田邊哲人コレクション		ポット:総高:20.3×最大径:19.5 砂糖壺:総高14.2×最大径11.3 ミルク入れ:総高15.0×最大径13.8 各小皿:高2.2×径18.4 各中皿:高2.8×径21.0 各碗:高5.6×口径9.6×底径益:高2.0×横35.4×縦25.7
144	色絵雉子文茶器セット(盆、ポット、砂糖壺、ミルク入れ、碗・皿)	Tea set	三栄舎	Saneisha	「横濱港 三栄舎」	田邊哲人コレクション		ポット:総高13.7×最大径15.8 砂糖壺:総高10.8×最大径12.5 ミルク入れ:総高8.0×最大径11.7 碗:高5.8×口径(7.2×7.2)×底径(4.2×4.2) 皿:高1.8×径(12.3×12.5)
145	高浮彫花卉花瓶	Vase	河田	Kawada	「日本横濱 河田」	田邊哲人コレクション		28.7×10.9×14.8×10.4

※ 滋賀県立陶芸の森陶芸館会場では東京国立博物館所蔵の3点の展示はありません

■ アンケート集計結果

入館者数	5,861 人		
回答者数	153人		
回 答 率	2.6%		
住 所	北海道・東北	0人	0%
	関東・甲信越	0人	0%
	首都圏	3人	2%
	北陸	0人	0%
	東海	7人	5%
	滋賀県	97人	66%
	京阪神	32人	22%
	奈良・和歌山	6人	4%
	中国	0人	0%
	四国	0人	0%
	九州・沖縄	0人	0%
	無回答	3人	2%
	展覧会評価	大変満足	100人
満足		41人	27%
普通		5人	3%
やや不満		1人	1%
不満		2人	1%
無回答		4人	3%
再来館したいと 思いますか	思う	141人	92%
	思わない	3人	2%
	無回答	9人	6%
信楽に来た目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	117人	67%
	陶芸の森のイベント	6人	3%
	町内のイベント	1人	1%
	陶器の購入	14人	8%
	旅行社ツアー	0人	0%
	MIHO MUSEUM	9人	5%
	学校行事	0人	0%
	その他	24人	14%
	無回答	3人	2%

特別展「Human and Animal 土に吹き込まれた命 21世紀陶芸の最先端」

Human×Animal Breathing Life into Clay The Vanguard of 21st Century Ceramic Art

■趣 旨

近年ますますアートとデザイン、陶芸と彫刻といった領域の境界線が曖昧さを増してきています。そこには、陶芸の素材ならではの土の可塑性や、焼成方法はもとより、自然と人間との関わりなど、さまざまな現代の要素が浮き彫りにされています。

この展覧会では、土と対話しながら生み出される土のアートの最先端を、日本やアメリカ、ヨーロッパの今、日本初公開の作家含めて注目される5人のアーティストたちによる人や動物をテーマにした作品を通して紹介しました。人や動物は原初からのモチーフですが、彼らは土の特徴を生かしつつ、躍動感やリアリティ溢れる個性的な表現で、人間の心理や動物の本能を探りながら心に浮かんだ形を表現しており、入館者たちは土を操る力強い造形に、新鮮な驚きを感じたという感想が多く聞かれました。



■展示構成／出品作家

ステファニー・クエール Stephanie Quayle (イギリス)

ベス・カヴェナー Beth Cavener (アメリカ)

奈良 美智 (日本)

スーザン・ホールズ Susan Halls (イギリス)

キム・シモンソン Kim Simonsson (フィンランド)

◎展覧会の中では、霊長類学・人類学者でゴリラ研究で知られる京都大学前総長山極壽一氏に、ゴリラたちの世界を通して、動物と私たち人間との橋渡しをしていただきました。

■会 期

Part 1 子どもたちとともに / 令和3年6月29日(火)～9月5日(日)

Part 2 アーティストたちに迫る / 令和3年9月18日(土)～12月19日(日) (計138日間)

※休館日 毎週月曜日 (8/9、9/20は開館し、翌日に振替休館)

■主 催 滋賀県立陶芸の森、京都新聞

■後 援 滋賀県教育委員会、甲賀市

αステーション(Part2)

■助成金 AFF ARTS for the future!

■企画協力 ヒュース・テン

■観覧料 一般 750 円 (600 円)、高大生 560 円 (450 円)、中学生以下無料

* () 内は 20 人以上の団体料金

■入場者数 15,091 人 (一日平均 109 人)

■関連行事

(1) 我が家の癒し！スマイルアニマル画像大募集

陶芸の森陶芸館公式インスタグラムアカウントをフォローして、ご自慢の動物たちの笑顔画像を募集。会期中、応募作品と入賞作品をコメントとともに展覧会会場にて展示しました。

(2) ギャラリー・トーク

8 月 11 日 (水)、9 月 23 日 (木・祝) *新型コロナウイルス感染症対策のため中止

11 月 23 日 (火・祝) 参加者：10 名 13:30～

(3) 陶芸館ギャラリー企画

・「子どもたちの土の造形ー本物との出会いから やきものどうぶつ大集合！」展

ちっこプログラムで制作された、小学校の子どもたちのやきもの作品 82 点を展示。

[展示内容] 甲賀市立雲井小学校 1 年生土面 (1 kg), 2 年生土面 (1.5 kg), 3 年生タヌキ (1.5 kg), 5 年生シーサー (2.5 kg), 6 年生ランタントロフィー (2.5 kg) 合計 82 点

[会期] 令和 3 年 7 月 17 日 (土) ～ 8 月 29 日 (日)

[入場者数] 2,861 人 (一日平均 75.3 人)

・「森で生まれた Human and Animal」展

国内外で活躍する陶芸家やアーティストらが年間 50 名程が滞在制作するアーティスト・イン・レジデンスのスタジオをもつ陶芸の森。近年、滞在制作された作品の中から 8 点を展示。

[会期] 令和 3 年 9 月 18 日 (土) ～ 12 月 19 日 (日)

[入場者数] 28,409 人 (一日平均 205 人)

(4) ミュージアムショップ特設 Human and Animal 展コーナー

展覧会のオリジナルグッズや出品作家の図録やグッズ、動物関連のアートグッズや「がちゃがちゃ」など期間限定商品を展示。

(5) 山田牧場／展覧会への協賛事業 POP UP SHOP

地元信楽で、牧場を経営されている山田牧場と連携し、展覧会の「動物」つながりということから週末限定で山田牧場は POP UP SHOP を開店。

地域で活躍されている事業者の方に陶芸の森事業に協賛いただくというもので、事業者と陶芸の森とが連携し相互プラスになる取り組みとして、地域経済の振興に寄与できる取り組みのひとつとして行いました。

(6) 陶芸館前は動物 PHOTO スポットに！

作家たちによるパンダやタヌキ作品と写真撮影で楽しむことができる。

中でも人気のフォトスポット「とぎざたぬき」作品の周辺をラベンダーや夾竹桃などを植栽した。

(7) デジタルサイネージによる展覧会広報

〔場所〕 京都駅地下道

〔会期〕 令和3年10月4日（月）～10月10日（日）

JAD ビジョン京都駅地下連絡口セット／JAD ビジョン京都駅地下東口セット

■助成金 AFF ARTS for the future!

YouTube 動画配信

- ・ Human and Animal 展示解説動画（日本語版）5分53秒
5人の今注目される国内外のアーティストらによる土のアートの最先端を紹介する展覧会。作家たちの言葉や解説をもとに展示風景や作品を紹介。
- ・ Human and Animal 展示解説動画（英語版）5分53秒
5人の今注目される国内外のアーティストらによる土のアートの最先端を紹介する展覧会。作家たちの言葉や解説をもとに展示風景や作品を紹介。
- ・ Human and Animal 展示解説動画1（子ども向け版）6分26秒
ネコのヒューとアニーが陶芸の森の Human and Animal 展を紹介。クイズなどにより、作品や作家を紹介し、秋の校外学習や子どもたちの来館前に楽しんでいただく動画。

■来館団体

京都精華大学現代アートプロジェクト演習／滋賀県立膳所高校美術部／信楽窯業試験場研修生
／甲賀市立三雲小 特支／関西大学第一中 3年／竜王町立竜王小 4年／彦根市立若葉小 4年
／長浜市立速水小 4年／大津市立中央小 4年／奈良県立奈良養護中学部／奈良県立奈良養護
中学部／湖南市立石部小 4年／大津市立逢坂小 4年／東近江市立愛東北小 3・4年／野
洲市立中主小 4年／栗東市立治田小 4年他 28校

■掲載記事・紹介番組等

(1) テレビ・ラジオ

NHK 大津放送局 ニュース／FM 京都 局報随時／びわ湖放送ニュース／あいこむ甲賀
10月14日 FM 京都 ONEFINEDAY (DJ 寺田有美子)

(2) 新聞関係

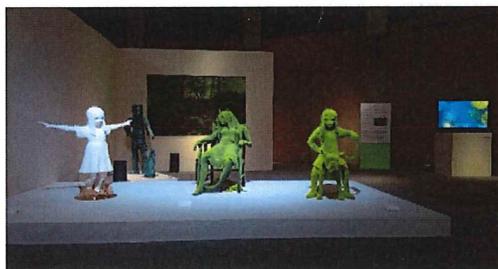
6月11日 京都新聞 社告、広告多数
6月26日 京都新聞 滋賀地域欄／特集
6月26日 産経新聞 地域ニュース欄
6月30日 京都新聞 ことしるべ広告
8月4日 読売新聞 滋賀欄
8月30日 毎日新聞 滋賀欄／名品手鏡Ⅱ
9月1日 朝日新聞 滋賀欄
11月11日 京都新聞 図録物語
11月11日 陸奥新報 遊空間欄
12月7日 朝日新聞 美術欄

(3) 雑誌・その他

甲賀フリモ7月号 EVENT NEWS 欄
Savvy 7月号 アート深掘り話
アートコレクターズ 9月号
れいかる 11・12月号 美術館・博物館欄
関西・中国・四国じゃらん10月号 「絶景グルメドライブ(関西)」

(4) インターネット関係

びわこビジターズビューロー・Kotoshirube・美術手帖・hus-10(ヒュース・テンオンライン)・美術展ナビ・cafevoyage ブログ・個展ナビ・N 's YARD・彩里陶材・朝日新聞デジタル・HYAKKEI・SankeiBiz・日本美術倶楽部・アットプレス・Musca・あとあと・Club Fame・SANSPO.COM・信楽町観光協会・毎日新聞・Press・ほっぺふき子のこの造形がええけえ!・京都新聞・TOKYO ART BERT・展覧会、博物館、美術館、記念館・HOTEL21・びじゅつつれづれー膳所高校美術班・JDN・zakzak・関西文化.com
KATYCOM・nifty.com・ぶらっと信楽web・選挙ドットコム・関西休日案内・アイエム・ビリオンログ・Twitter・Facebook・Instagram 他



Human and Animal 土に吹き込まれた命 展 作品リスト

No.	章 Scene	作家	Artist	Title	作品名	国名 Country	サイズ(cm) size(cm)	素材	制作年 Date	所蔵 Collection
Kim Simonsson (キム・シモンソン)										
1	5	キム・シモンソン	Kim Simonsson	"Ghostdog"	ゴースト・ドッグ	フィンランド	185 length cm x 60 wide x 130 height	ceramics, platinum lustre, polyester filler, steel stand	2008	Kim Simonsson
2	5	キム・シモンソン	Kim Simonsson	"Resting Woman With Sleeping Dog"	休む少女と眠る犬	フィンランド	110 x 80 x 120	ceramics, nylon fibre, wooden chair	2017	Kim Simonsson
3	5	キム・シモンソン	Kim Simonsson	"Girl Jumping In Golden Puddle "	金色の水たまりにジャンプする少女	フィンランド	85 x 55 x 120	ceramics, glass, gold lustre	2012- 2020	Kim Simonsson
4	5	キム・シモンソン	Kim Simonsson	"Two Children Resting At Bonfire"	焚き火にあたる子どもたち	フィンランド	150 x 130 x 65	ceramics, nylon fibre, gold lustre	2020	Kim Simonsson
5	5	キム・シモンソン	Kim Simonsson	"Moss Princess "	モス・プリンセス	フィンランド	110 x 65 x 110	ceramics, nylon fibre, steel	2018	Kim Simonsson
6	5	キム・シモンソン	Kim Simonsson	"His Master"	彼のご主人さま	フィンランド	100 x 65 x 175	ceramics, paint	2019	Kim Simonsson
7	5	キム・シモンソン	Kim Simonsson	Feeding the Eagle	タカにエサをやる二人	フィンランド	H132.0 xW 55.0 xD48.5	ceramics	2013	滋賀県立陶芸の 森陶芸館
8	5	キム・シモンソン	Kim Simonsson	Alian Tatto	エイリアンのタトゥー	フィンランド	H105 xW65x D60	porcelain	2003	滋賀県立陶芸の 森陶芸館
No.	章 Scene	作家	Artist	Title	作品名	国名 Country	サイズ(cm) size(cm)	素材	制作年 Date	所蔵 Collection
Beth Cavener (ベス・カヴェナー)										
9	2	ベス・カヴェナー	Beth Cavener	Obariyon	オバリオン	アメリカ		炻器	2013	個人蔵 (アメリカ、 テキサス)
10	2	ベス・カヴェナー	Beth Cavener	Shadow Partner	シャドーパートナー	アメリカ		炻器、絵付、 鉄強化ロープ、木	2018	Jason Jacques Gallery (アメリ カ、NY)

No.	章 Scene	作家	Artist	Title	作品名	国名 Country	サイズ(cm) size(cm)	素材	制作年 Date	所蔵 Collection
Stephanie Quayle(ステファニー・クェール)										
11	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Old Boar	Old Boar	イギリス	H80×W100×D45	粘土、椅子	2012	個人蔵
12	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Orangutan	Orangutan	イギリス	H103 ×W69×D64	粘土、木製椅子	2016	作家蔵
13	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Narrow Abyss Juvenile	Narrow Abyss Juvenile	イギリス	H65×W45×D45	粘土	2018	作家蔵
14	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Narrow Abyss Mother	Narrow Abyss Mother	イギリス	H70×W75×D75	粘土	2018	作家蔵
15	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Raven II	Raven II	イギリス	H39×W 56×D26	粘土	2019	作家蔵
16	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Old World Monkey	Old World Monkey	イギリス	H40×W30×D20	粘土	2014	公益財団法人滋賀県陶芸の森
17		ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Snub Nose Monkey IV	Snub Nose Monkey IV	イギリス	H48×W42×D24	粘土	2015	作家蔵
18	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Drawing	ドローイング	イギリス	58×42×4	紙、額装（日本にて）		作家蔵
19	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Drawing	ドローイング	イギリス	58×42×4	紙、額装（日本にて）		作家蔵
20	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Drawing	ドローイング	イギリス	58×42×4	紙、額装（日本にて）		作家蔵
21	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Drawing	ドローイング	イギリス	58×42×4	紙、額装（日本にて）		作家蔵
22	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Drawing	ドローイング	イギリス	58×42×4	紙、額装（日本にて）		作家蔵
23	3	ステファニー・クェール	Stephanie Quayle	Drawing	ドローイング	イギリス	58×42×4	紙、額装（日本にて）		作家蔵

No.	章 Scene	作家	Artist	Title	作品名	国名 Country	サイズ(cm) size(cm)	素材	制作年 Date	所蔵 Collection
Susan Halls(スーザン・ホールズ)										
24	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Giraffe	キリン	イギリス	H90.0×W37.0 ×D33.0	ペーパークレ イ、ラク	1993	滋賀県立陶芸の 森陶芸館
25	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Gazelle	カモシカ	イギリス	H46.0×W29.0 ×D45.0	ペーパークレ イ、ラク	1993	滋賀県立陶芸の 森陶芸館
26	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Zebra	シマウマ	イギリス	H52.0×W48.0 ×D40.0	ペーパークレ イ、ミクスドメ ディア、ラク	1993	滋賀県立陶芸の 森陶芸館
27	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Peaceable Dog	ピースャブル・ドッグ	イギリス	H20.0×W25.0 ×D15.0	陶器、ラク	2019	Susan Halls
28	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Big Bad Bunny	ビッグ・バッド・バニー	イギリス	<u>H29.0×W29.0</u> <u>×D15.0</u>	陶器、ラク	2019	Susan Halls
29	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Rabbit Family	ラビット・ファミリー	イギリス	<u>H32.0×W9.0×</u> <u>D12.0</u>	陶器、ラク	2019	Susan Halls
30	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Rabbit Family	ラビット・ファミリー	イギリス	<u>H28.5×W7.9×</u> <u>D13.0</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls
31	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Rabbit Family	ラビット・ファミリー	イギリス	<u>H31.0×W8.5×</u> <u>D11.8</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls
32	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Rabbit Family	ラビット・ファミリー	イギリス	<u>H29.0×W9.4×</u> <u>D11.1</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls
33	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Rabbit Family	ラビット・ファミリー	イギリス	<u>H34.0×W8.5×</u> <u>D10.6</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls
34	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Rabbit Family	ラビット・ファミリー	イギリス	<u>H25.0×W8.3×</u> <u>D13.0</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls
35	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Rabbit Family	ラビット・ファミリー	イギリス	<u>H27.2×W11.3</u> <u>×D8.6</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls
36	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Rabbit Family	ラビット・ファミリー	イギリス	<u>H32.0×W8.8×</u> <u>D11.5</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls
37	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Rabbit Family	ラビット・ファミリー	イギリス	<u>H33.5×W9.1×</u> <u>D13.5</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls
38	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Monkey Heads	モンキー・ヘッド	イギリス	<u>H33.5×W9.1×</u> <u>D13.5</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls

39	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Monkey Heads	モンキー・ヘッド	イギリス	<u>H33.5×W9.1×D13.5</u>	陶器、ラク	2020	Susan Halls
40	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Monkey Heads	モンキー・ヘッド	イギリス	H12.3×W12.5×D6.5	陶器、ラク	2017	Susan Halls
41	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Monkey Heads	モンキー・ヘッド	イギリス	H11 ×W12.5×D9.3	陶器、ラク	2017	Susan Halls
42	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Monkey Heads	モンキー・ヘッド	イギリス	H10.3×W12.8×D4.5	陶器、ラク	2017	Susan Halls
43	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Monkey Heads	モンキー・ヘッド	イギリス	H11.3×W11×D5.8	陶器、ラク	2017	Susan Halls
44	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Monkey Heads	モンキー・ヘッド	イギリス	H9.5×W11×D6	陶器、ラク	2017	Susan Halls
45	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Monkey Heads	モンキー・ヘッド	イギリス	H8.8×W10.5×D4.2	陶器、ラク	2017	Susan Halls
46	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Drawing	ドローイング ウサギ	イギリス	<u>H30.5×W29.5</u>	紙	2018-19	Susan Halls
47	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Drawing dog	ドローイング イヌ	イギリス	<u>H30.×W24.5</u>	紙	2015	Susan Halls
48	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Drawing rabite	ドローイング ウサギ	イギリス	<u>H30×W24.5</u>	紙	2018-19	Susan Halls
49	3	スーザン・ホールズ	Drawing	Drawing Monkey	ドローイング サル	イギリス	<u>H13.7×W9.0</u>	紙	2018-19	Susan Halls
50		スーザン・ホールズ	Drawing	Drawing rabite	ドローイング ウサギ	イギリス	<u>H18×W14.0</u>	紙	2018-19	Susan Halls
51		スーザン・ホールズ	Drawing	Drawing dog	ドローイング イヌ	イギリス	<u>H30.5×W24.5</u>	紙	2015	Susan Halls
52		スーザン・ホールズ	Susan Halls	Drawing dog	ドローイング イヌ	イギリス	<u>H25.5×W7.5</u>	紙	2018-19	Susan Halls
53		スーザン・ホールズ	Susan Halls	Drawing rabite	ドローイング ウサギ	イギリス	<u>H30.5 ×W24.5</u>	紙	2018-19	Susan Halls
54	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Drawing rabite	ドローイング ウサギ	イギリス	<u>H28×W35.8</u>	紙	2011	Susan Halls
55	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Drawing rabite	ドローイング ウサギ	イギリス	<u>H13.7×W9.0</u>	紙	2018-19	Susan Halls

56	3	スーザン・ホールズ	Susan Halls	Drawing rabbit	ドローイング ウサギ	イギリス	H13.7×W9.0	紙	2015、2	Susan Halls
No.	章 Scene	作家	Artist	Title	作品名	国名 Country	サイズ(cm) size(cm)	素材	制作年 Date	所蔵 Collection
Yoshitomo Nara (奈良 美智)										
57	5	奈良 美智	Nara Yoshitomo	Girl (studies for practice)	少女習作	日本	H34.0×W22.5×D22.0	炻器	2011	滋賀県立陶芸の森陶芸館
58~142	4	奈良 美智	Nara Yoshitomo	My Studio on Saturday, Nobody's there (But you are there)	誰もいない土曜日の創作室 (あなたはいらねど)	日本		陶器	2007-2021	奈良 美智

■ アンケート集計結果

入館者数	15,091 人			
回答者数	330人			
回答率	2.2%			
住 所	北海道・東北	0人	0%	
	関東・甲信越	0人	0%	
	首都圏	8人	2%	
	北陸	0人	0%	
	東海	17人	5%	
	滋賀県	203人	62%	
	京阪神	80人	24%	
	奈良・和歌山	12人	4%	
	中国	2人	1%	
	四国	0人	0%	
	九州・沖縄	1人	0%	
	無回答	4人	1%	
	展覧会評価	大変満足	179人	54%
		満足	119人	36%
普通		23人	7%	
やや不満		1人	0%	
不満		4人	1%	
無回答		4人	1%	
再来館したいと 思いますか	思う	308人	93%	
	思わない	11人	3%	
	無回答	11人	3%	
信楽に来た目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	201人	53%	
	陶芸の森のイベント	45人	12%	
	町内のイベント	4人	1%	
	陶器の購入	21人	6%	
	旅行社ツアー	2人	1%	
	MIHO MUSEUM	9人	2%	
	学校行事	31人	8%	
	その他	57人	15%	
	無回答	9人	2%	

信楽窯業技術試験場移転記念展 JAPAN STYLE —信楽・クラフトデザインのあゆみ

■趣 旨

世界的なコロナ禍を転機に、暮らし方への関心が高まりつつあります。日常に癒しやくつろぎを求めようとする意識の変化にともない、生活空間のなかで、いま手仕事の温かさと土の魅力を活かした普段づかいの〈うつわ〉のデザインが注目を集めています。

〈デザイン〉という言葉が広く知られる契機は、1957年にはじまるグッドデザイン商品選定制度にありました。同時に国際競争力の強化を目指したデザイン振興施策が相次いで打ち出され、日本独特の美意識を活かした〈ジャパン・スタイル〉が探求されています。

こうした動向のなか、クラフトデザイン運動の指導者として国内の陶産地で活躍したのが日根野作三（1907—1984）でした。現在の信楽窯業技術試験場を拠点に展開した日根野のデザイン指導を通して、陶産地信楽のモノづくりは新たな活路を見出してゆきます。

日根野や熊倉順吉（1920—1985）の指導により、産地が一体となり火鉢低迷の苦境を乗り越えたあの頃。本展では、朝の連続ドラマでも記憶に新しい活気に満ちた当時を振り返りつつ、新時代を予感させる信楽で話題の作家たちの〈うつわ〉を併せて紹介しました。



■展示構成 下記のテーマから作品 103 件・資料（動画映像含） 27 件を紹介

- 〈Section 1〉 戦後クラフトデザインのあけぼの〈1945-1960〉
- 〈Section 2〉 陶磁デザイナー・日根野作三との出会い
- 〈Section 3〉 産地の挑戦—試験場とクラフトデザイン運動
- 〈Section 4〉 出会いと交流のなかで—育まれた新たな息吹き
- 〈Section 5〉 ニューノーマル時代の〈やきもの〉と暮らし

■会 期 令和4年3月5日（土）～3月31日（木） 23日間 （令和4年度へ継続）

※休館日 毎週月曜日（3/21は開館し、翌日に振替休館）

■主 催 滋賀県立陶芸の森 滋賀県工業技術総合センター—信楽窯業技術試験場
京都新聞

■後 援 滋賀県教育委員会 甲賀市 NHK大津放送局

■協 力 公益財団法人日本陶磁器意匠センター

■観覧料 一般 600 円 (480 円)、高大生 450 円 (360 円)、中学生以下無料

* () 内は 20 人以上の団体料金

■入場者数 1,182 人 (1 日平均 51 人)

■関連企画&連携事業

(1) ギャラリートークー学芸員による展示解説

〔日 時〕 3 月 20 日 (日) 13:30 ~ 14:30

〔参加者〕 3 人

(2) ショップ企画販売

森正洋・加藤達美・柳宗理・鈴木治ら出品作家のプロダクト製品を販売した。

(3) 協賛事業

地元信楽の山田牧場が「POP UP SHOP」を陶芸館前に開店、土日祝日に自社製乳製品を販売。

(出店日数 = 26 日)

■団体案内

4 月 23 日 信楽窯業技術試験場研修生 (レクチャー&鑑賞会) 15 人

6 月 1 日 信楽陶器工業組合青年部 (レクチャー&鑑賞会) 22 人

6 月 9 日 信楽窯業技術試験場運営委員 10 人

■掲載記事・紹介番組等

(1) テレビ・ラジオ

5 月 9 日 あいコムこうか「こうか!かわら版」~5 月 11 日

5 月 11 日 NHK 大津放送局「おうみ発 630」

(2) 新聞関係

3 月 2 日 「JAPAN STYLE・信楽に息づくクラフトデザイン」京都新聞 (特集)

3 月 6 日 「信楽の物づくり変遷伝える」京都新聞 (社会)

3 月 11 日 「ギャラリーコーナー」読売新聞 (滋賀版)

3 月 15 日 「戦後のものづくりの思想たどる」朝日新聞夕刊 (美術)

3 月 26 日 「まち案内ー美術」産経新聞 (滋賀版)

(3) 専門誌・雑誌など

1 月 17 日 「美術館スケジュール」『ギャラリーガイド』アートエクスプレス

(4) インターネット

陶芸館展覧会 (陶芸の森) / 陶芸の森ツイッター / 陶芸の森フェイスブック / Tokyo Art Beat (株式会社アートビート) / 美術手帳 (カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社) / デザイン情報サイト JDN イベント情報 (株式会社 JDN) / 全国のおすすめ展覧会 100 (ケイティコム) / ほっとミュージアム談話室 (COOCAN) / アートデザイン (ソーシャルワイヤー株式会社) / ウォーカープラス関西のイベント (株式会社 KADOKAWA) / haconiwa 今週末行きたいイベント 10 選 in 関西 (株式会社 RIDE) / 旅する、千年、六古窯 お知らせ (備前市日本遺産課) / 信楽陶器窯 大西左朗

(5) その他

3月5日 報道機関向け事前説明会 10:00-11:30

参加報道機関 2社2人 (京都新聞・あいコムこうか)

■ 作品リスト

<Section 1> 戦後クラフトデザインのあけぼの (1945-1960)

No.	作者・デザイナー	作品・資料名	制作年	寸法 (cm)	画像	備考 (付属資料ほか)	所蔵者
1	陶磁器試験所 (デザイン=水町和三郎)	青草草花文パン皿	1933	高2.2×口径17.7×底径13.0		図案	独立行政法人 産業技術総合研究所 (愛知陶磁美術館管理)
2	石黒 宗康	赤釉小瓶	1946	高7.2×口径9.0・9.4×胴径9.5・9.7×底径5.0		共箱 箱書表=赤釉小瓶/摺■印 (摺)裏=昭和二十一年夏於九谷作之	個人
3	ニッコー (デザイン=柳宗理)	ポーンチャイナシリーズ (松村硬質陶器N型シリーズ複製版)	1990 (デザインc.1952)	ポット=高14.9×幅22.0×奥行15.1×底径9.5 シュガー=高10.8×幅12.0×奥行9.1×底径7.8・5.8 クリーマー=高8.4×幅13.4×奥行9.9×底径6.2		色絵転写絵 FINE BONE CHINA DESIGNED BY SORI YANAGI NIKKO COMPANY JAPAN、茶	個人
4	浜田庄司	黒釉灰落し	1940-1985 (デザインc.1940)	高5.3×幅12.5×奥行8.2×底径9.0・5.8		記念品 (日本専売公社)	個人
5	浜田庄司	網目文陶指マグ	1950s	高14.0×幅13.0×奥行 (口径) 10.6×底径6.9		記念品・贈答品 (アサヒビール)	個人
6	日本陶磁振興会 (デザイン・描画=日根野作三)	色絵皿	c.1949	高2.6×口径25.4×底径15.7		色絵転写絵 日本陶磁振興会 志松=金中製陶所 (陶造) 大津陶庵にて焼付	個人
7	日本陶磁振興会 (デザイン・描画=日根野作三)	色絵鉢	c.1949	高3.9×口径19.6×底径10.6		匠 美と科学と生産 第二号 (1949.12) 日本工 藝協会	個人
8	水月窯	粉引陶鉢文芸出し	1960s	高7.9×口径9.6×底径5.6		鉄絵鉢 水月窯、【20c後半の日本陶磁器クラフト	多治見市美術館ミュージアム No.4373
9	水月窯	絵唐漆湯呑	1960s-1970s	高8.9×口径7.8×胴径8.1×底径5.0		鉄絵鉢 水月窯 共箱 箱書=唐津風漆呑/皮炭山/水月窯 印 (水月窯)、景 (小山富士夫)	土佐市美術館蔵品 (二宮コレクション)
10	水月窯 (制作= 荒川武夫)	鉄絵湯呑	1960s	高9.7×口径7.5×底径5.6		鉄絵鉢 水月窯、【20c後半の日本陶磁器クラフト	多治見市美術館ミュージアム
11	小山 富士夫	灰釉湯呑	1940s後半	高10.5×口径7.5×底径3.9		美濃 (小名田) にて制作	個人
12	小山 富士夫	灰釉茶碗	1940s後半	高6.6×口径13.0×底径5.3		美濃 (小名田) にて制作	個人
13	平安陶苑 (デザイン=富本憲吉)	色絵「花」文字文角花瓶	1960s (デザインc.1957)	高19.8×口径3.6×胴径7.8×底径8.0×底径6.1		染付鉢 高泉、共箱 箱書=富本憲吉案/色絵花文字花瓶/平安陶苑 印 (高泉)、景 (八坂工芸・陶造)	個人
14	平安陶苑 (デザイン=富本憲吉)	染付色絵 角盆・陶器・蓋物	1960s (デザインc.1957)	角盆=高8.4×幅13.9×奥行10.3×底径10.8・7.3 陶器=高8.0×口径6.0×胴径9.0×底径5.0 =高13.2×口径7.1×幅・奥行9.3×底径8.1		染付鉢 高泉、共箱 箱書=富本憲吉案/染付色絵 角盆・陶器・蓋物/平安陶苑 印 (高泉)、景 (NIPPON CRAFT)	個人
15	平安陶苑 (デザイン=富本憲吉)	色絵竹文茶器	1960s (デザインc.1957)	茶碗=高 (本体) 9.8×口径8.7×幅15.8×底径7.6/茶 明=高5.5×口径8.9×底径4.5		染付鉢 高泉、共箱 箱書=富本憲吉案/色絵竹文/茶器/平安陶苑 印 (高泉)、景 (NIPPON CRAFT)	個人
16	近江化学陶器 (デザイン=神山易久)	色絵手箱	1950s後半	高23.8×口径26.6×底径23.8		図案 (横38.1×縦27.1)	個人
17	滋賀県立信楽窯業試験場 (焼付=富本憲吉)	鉄指筒彩「高貴」字火鉢	1951	高26.3×口径40.0×胴径40.5×底径28.8		鉄絵鉢「高」/印鉢「窯試」	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
18	富本憲吉	鉄指筒彩竹林月夜文蓋	1950 / 昭和25	高6.8×口径30.4×底径16.4		鉄絵鉢「高」/「景案にて」	個人
19	滋賀県立信楽窯業試験場 (焼付=赤澤鏡太郎)	色絵花卉文花瓶	1947	高2.50×径25.0			滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
20	赤澤 鏡太郎	染付窯風景陶皿	1970s	高3.5×口径26.2×底径18.8		鉄絵鉢「景」 チーフ=高橋宗斎案の登窯	モ 個人
21	新井 隆也	染付北京公園行雨人図皿	1947	高9.6×口径36.0		染付鉢「字研面書」「■小亭里」	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
22	新井 隆也	染付文字入り煎茶器指	1947	急須=高8.2×幅14.9×奥行8.8/湯冷し=高6.3×幅8.2×奥行7.8/湯呑=高5.3×径6.0			滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
資料 1	「リビングデザイン」美術出版社	デザイナー訪問 柳宗理 水戸健	1956.4	縦25.9×横18.2×厚0.4/1冊		P.36-40	個人
資料 2	日本陶磁振興会	「日本陶磁振興会編覧会誌」	1947	B5 (26.3×18.5) /1冊		実書 (入会申込)	多治見市美術館ミュージアム
資料 3	富本 憲吉	書籍 鉄指筒彩「高貴」字火鉢について 平野敏三あて	1951	縦14.3×横9.9/縦14.3×横9.9 (展開=縦14.3×横31.7)			個人
資料 4	参考写真	柳宗理、河井夏次郎、浜田庄司、バーナード・リーチ 信楽来訪	1949	信楽窯業試験場にて			滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場

<Section 2> 陶磁デザイナー・日根野作三との出会い

No.	作者・デザイナー	作品・資料名	制作年	寸法 (cm)	画像	備考 (付属資料ほか)	所蔵者
23	Staubenville (デザイン=ラッセル・ライト)	American Modernシリーズ	1939-1959 (デザイン1939)	ピッチャー=高28.0×幅16.5×/シュガー=高6.5×径11.5 /カップ=高4.8×幅12.5×奥行・径9.8/ソーサー=径14.8		印刷鉢 Russel Wight MFG BY STAUDEVILLE	個人
24	山茶窯 (デザイン=日根野作三)	タンブラー	1929-1932	高13.3×口径8.8×底径5.6			多治見市美術館ミュージアム
25	陶磁器試験所 (デザイン=日根野作三)	彩色人魚文皿	1934	高18.0×径16.5×底径7.6		図案	独立行政法人 産業技術総合研究所 (愛知陶磁美術館管理)
26	佐部具陶磁器研究所 (焼付=日根野作三)	赤釉鳥文皿	1941-1943	高4.2×口径25.0×底径14.0		染付鉢 文	多治見市美術館ミュージアム
27	日根野作三	青釉文楽茶碗	1960-72	高9.1×口径11.6×胴径16.8×底径9.0			個人
28	日根野作三	陶板「探陣」	1974	縦19.7×横27.2×厚1.5		サイン-1974 hineno	多治見市美術館ミュージアム
29	日根野作三	スケッチ「探陣」	1934	横40.0×縦28.0		サイン-hineno 1934	多治見市美術館ミュージアム
30	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=ポール・オート・マッテ)	鉄絵花器	1958	高30.0×径7.0		鉄絵鉢「MATTE 58」	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場

31	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=ポール・オートー・マッテ)	鉄絵花器	1958	高29.0×幅・奥行13.0		鉄絵技「MATTE 58」	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
32	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=ポール・オートー・マッテ)	灰皿	1958	高8.0×幅52.0×奥行16.2			滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
33	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	灯籠	2021 (デザイン1959)	高61.0×径45.5		図案、賞状(第9回ワシントン州国際貿易見本市)、1960マル手対象作、マル手報告書(HANDICRAFTS OF JAPAN 会場写真)	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
34	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	灯籠	2021 (デザイン1959)	高41.3×径31.1		図案、1960マル手対象作、マル手報告書(HANDICRAFTS OF JAPAN 会場写真)	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
35	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	花器	1958	高38.5×径18.0		図案、昭和33年度『滋賀県立信楽窯業試験場業務報告』巻頭	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
36	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	(デ) 蚊羽和花器	1958	高39.5×径19.05		図案、1960マル手対象作、昭和33年度『滋賀県立信楽窯業試験場業務報告』巻頭	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
37	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	(デ) 燗木鉢	1959	高52.5×径41.5		図案、昭和34年度『滋賀県立信楽窯業試験場業務報告』巻頭	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
38	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	天目釉灰皿	1959	高7.7×径16.0		印刷誌 志がらき・ノゾフ、1960マル手対象作、昭和34年度『滋賀県立信楽窯業試験場業務報告』P6	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
39	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	汽車土瓶	1959	高9.4×幅9.8×奥行5.5/高9.5×幅9.5×奥行7.0/高8.8×幅9.7×奥行8.0		図案	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
40	滋賀県立信楽窯業試験場	花瓶	1960	高23.5×口径12.2		1960マル手対象作	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
41	滋賀県立信楽窯業試験場	コンボート	1960	高23.5×口径12.2		1960マル手対象作、昭和35年度『滋賀県立信楽窯業試験場業務報告』P6	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
資料5	青年派工房	向人技『青年派工房』	1932	No.1 (白) →縦28.4×横20.4×厚0.25 No.2 (黒) →縦28.8×横21.4×厚0.25			多治見市美濃焼ミュージアム
資料6	日根野作三 (滋賀県立信楽窯業試験場)	講演要旨『図案講習会』『陶磁器の装飾技法について』	1955/1959	B5 (26.3×18.5) / 2冊		図案講習会 (1955.3.25-26)、陶磁器の装飾技法について (1959.1)	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
資料7	日根野作三	ノート『ジェットロラセルライトプラン』	1960	B5 (26.3×18.5) / 1冊			多治見市美濃焼ミュージアム
資料8	日根野作三 著作	20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記録/陶磁器デザイン概論/陶磁器の装飾技法	1969/1979	20.3×22.1/B5 (26.3×18.5)		光村推古書院/岐阜県陶磁器工業組合連合会/日本陶磁器協会センター	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
資料9	日根野作三	ノート『Craft ④ 四目市・みの・常滑・信楽』	c.1969	A5 (20.8×15.6×0.3) / 1冊			多治見市美濃焼ミュージアム
資料10	日根野作三	ノート『信楽の森に』	c.1969	A5 (20.8×15.6×0.3) / 1冊			多治見市美濃焼ミュージアム
資料11	ポール・オートー・マッテ (滋賀県立信楽窯業試験場)	輸出陶器デザイン講習会テキスト 『シルクプリントについて』	1958	B5 (18.5×26.3)		記録写真 (資料12=講習会会場)	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
資料12	記録写真	輸出デザイン講習会 -滋賀県立信楽窯業試験場にて	1958			ポール・オートー・マッテ、寺本武彦、奥田陶器夫	
資料13	日本貿易振興会	報告書『日本手工艺品対米輸出推進計画(マル手)』	1960-1961-1962-1964-1965	B5 (26.3×18.5) / 1冊、A5 (20.5×14.7) / 4冊 (S35-S36-S37-S39-S40)			滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
資料14	日本貿易振興会	図録『HANDICRAFTS OF JAPAN 1966』	1966	B5 (26.3×18.5)			
資料15	記録写真	日本手工艺品対米輸出推進計画発掘指導 -信楽中学校校舎にて	1960.06.14			左から寺本武彦、平野敏三、今井一郎、ロバート・フォン・ニューマン、モルト・L・ローゼンバーク、上田直、日根野作三	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
資料16	記録写真	熊倉積吉、日根野作三、平野敏三 滋賀県立信楽窯業試験場にて	1960-1966				個人

<Section 3> 産地の伝統 - 試験場の取り組みとクラフトデザイン運動

No.	作者・デザイナー	作品・資料名	制作年	寸法 (cm)	画像	備考 (付属資料ほか)	所蔵者
42	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=熊倉積吉)	照明具	2002 (デザイン1963)	高65.0×直径32.7×径深23.5×台径17.0		図案、1963ガーデンファニチャー展出品、賞状 (1963グッドデザインショウ)	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
43	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=熊倉積吉)	ガーデン・オブジェ (照明具)	1962	高84.5×幅60.0×奥行20.0		図案、1963ガーデンファニチャー展出品	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
44	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=熊倉積吉)	パーバキューセット (テーブル・トン)	1962	テーブル-高35.0×径62.0/トン-24.0×径30.0		1963ガーデンファニチャー展出品	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
45	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=船津英治)	置物 (鳩)	1956	高14.0×幅22.0×奥行8.5		東海道縁米原京町開化記念品	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
46	船津 英治	リスの陶形	1950s	高39.9×幅18.0×奥行15.5			滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
47	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=船津英治)	干支 (未)	1966	高13.5×幅18.5×奥行8.5			滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
48	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=八木一夫)	干支 (寅)	1961	高10.8×幅29.8×奥行6.2			滋賀県立陶芸の森 陶芸館
49	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=熊倉積吉)	干支 (丑)	1972	高11.4×幅22.5×奥行9.3			滋賀県立陶芸の森 陶芸館
50	門工房 (デザイン=八木一夫)	柿絵菓	c.1962	急須-高20.0×幅17.8×奥行19.7/ 高0.0×口径8.0×底径		湯呑-	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
51	熊倉 積吉	色絵林檎文・蘭文灰皿	1950s	高3.6×幅・奥行12.9/高3.4×幅・奥行12.4			滋賀県立陶芸の森 陶芸館
52	セラミック・ジャパン、瀬楽陶器 (デザイン=加藤達美)	月光シリーズ カップ&ソーサー	1960s	カップ-高6.1×幅11.2×奥行・口径8.5×底径5.7 ソーサー (小)-高1.9×口径15.9×底径9.5 ソーサー (大)-高 2.5×口径26.4×底径16.0		印刷誌 SEYEI CHINA DESIGNED BY TATSU.K / 色絵 磁器銘 CERAMIC JAPAN DESIGNED BY TATSUUMIK.	個人
53	美濃窯業 (デザイン=八井孝二)	置物 鳥	c.1957	高21.8×幅12.0×奥行9.2		美濃窯業工芸品の美、美濃窯の景	個人
54	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=藤森健次)	小物入れ	1970s	箱-高13.6×径9.0/真中央-高11.1×径7.5/真中央-高11.2×径6.5/ 両端-高6.1×径7.1/トルコ青中央-高6.3×径7.1/トルコ青左- 高7.2×径7.7			滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場

55	白山陶器 (デザイン=森 正洋)	M型コーヒースセット	c.2006 (デザイン1973)	ポット=高101×幅175×奥行77/シュガーポット=高88×径72/ク リヤー=高13×幅65×奥行55/カップ=高8×口径8×幅17×奥 行=径7.5/ソーサー (A) =高21×口径13.8×径13.8/ソーサー (B) =高24×口径18.0×径12.2		色絵転写銘 HAKUSAN JAPAN	個人
56	加藤 朝一	茶碗皿		高4.3×口径30.8×底径17.4		朱付銘 徳	個人
57	セラミック・ジャパン (デザイン=栗木 正敏)	カップ&ソーサー	1970s	(朱付) カップ=高6.0×幅8.5×奥行6.0、ソーサー=高2.0×口径 11.3 / (色絵) カップ=高5.8×幅11.0×奥行8.0、ソーサー=高1.7 ×口径14.7		色絵転写銘	滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
58	伊藤 慶二	急須	1960s	高12.2×口径6.2×径径7.6×底径6.5		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記 録』	多治見市美濃焼ミュージアム
59	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	酒物セット	1974	手付鉢=高4.0×径19.0/醤油差し=高8.7×径5.6/小皿=高 2.5×径11.0			滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
60	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	ティーセット	1967 (デザインc.1965)	ポット=高14.2×幅20.0×奥行14.4/カップ=高5.5×幅12.5×奥行9.0 /ソーサー=高2.4×径17.4/砂糖入れ=高10.4×径10.2/ミルク入れ =高8.8×幅10.9×奥行9.2		マルテ対象作、『HANDICRAFTS OF JAPAN 1966』	滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
61	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=日根野作三)	灰皿	1969	高9.0×幅・奥行21.0			滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
62	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=和田三千穂)	コーヒースセット&スープ碗皿	1974	ポット=18.0×11.0/カップ=7.0×8.0/ ソーサー=2.5×15.0 /シュガー=10.0×9.0スプーン=5.5×12.0/受皿小=2.5× 20.0/受皿中=2.8×31.0			滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
63	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=和田三千穂)	パーティーセット	c.1975	バスケット=高23.7×幅13.5×奥行13.7/バスケット=高10.4×幅10.3×奥行9.0 /幅6.4×高2.7×口径2.3/受皿小=高2.9×口径4.6/カップ=高1.4×幅1.0×奥行 1.8/ソーサー=高2.0×幅14.1/皿=高6.6×口径13.9/入皿=径11.0×径11.0/ドレッシング 入れ=高14.0×幅4.4×奥行6.3/皿A=径12.3×径6.5/皿B=径11.0×径6.7 ×径6.0		第12回陶磁器試験研究機関作品展出品作	滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
64	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=和田三千穂)	モーニングセット	1979	トレイ=2.5×幅28.3×奥行13.3		第16回陶磁器試験研究機関作品展出品作	滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
65	滋賀県立信楽窯業試験場 (デザイン=和田三千穂)	青銅鉢セット	1977	醤油差し=高8.0×幅7.7/鉢大=高4.4×径25.5/鉢中=高4.1×径 22.2/鉢小=高2.4×径10.2		第14回陶磁器試験研究機関作品展出品作	滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
66	滋賀県立信楽窯業試験場	番茶器セット	1970	土瓶=高10.8×幅19.5×奥行13.3/清呑=高 5.7×径8.1			滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
67	滋賀県立信楽窯業試験場	ランプスタンド	1966	高30.0×径24.0		マルテ対象作、昭和41年度マルテ優待導カルテ	滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
68	滋賀県立信楽窯業試験場	粗皿	1967	高6.0×口径47.0/高2.7×口径18.0		マルテ対象作、1968アトランティックシティ チャイナ・アンド・グラスショー (アメリカ)	滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
69	滋賀県立信楽窯業試験場	おろし皿	1966	高2.5×幅19.0×奥行16.3		マルテ対象作、昭和41年度マルテ優待導カルテ、 1967アトランティックシティチャイナ・アン ド・グラスショー (アメリカ)	滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
70	丹云窯 (制作=前川幸志)	梅形皿	1966	高3.0×口径9.0・8.3×底径5.0・5.8		マルテ対象作、昭和41年度マルテ優待導カルテ、 1967アトランティックシティチャイナ・アン ド・グラスショー (アメリカ)	多治見市美濃焼ミュージアム
71	中野陶房 鈴木茂至	マグカップ (2種)	1968	高10.8×幅13.8×10.1			滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
72	陶晴窯 大野忠左	タンブラー (2種)	1969	左=高12.6×口径8.1/右=高12.8×口径8.2		マルテ対象作、1970アトランティックシティ チャイナ・アンド・グラスショー (アメリカ)	滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
資料 17	奥田陶器夫 (滋賀県立信楽窯業試験場)	寸法録	c.1959-1972				滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
資料 18	記録写真	八木一夫デザイン「干支(寅)」制作風景	1961				滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
資料 19	信楽焼青年市場調査グループ	信楽市場調査報告書	1962	B5 (26.3×18.5) /1冊			個人
資料 20	滋賀県立信楽窯業試験場	パンフレット「ガーデンファニチャー展」	1963				滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
資料 21	信楽クラフトデザイン協議会	信楽クラフトデザイン協議会 (設立趣意書・会則・名簿)	1964	B5 (26.3×18.5) /3冊			滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
資料 22	滋賀県立信楽窯業試験場 (指導=日根野作三)	昭和41年度マルテ優待導カルテ	1966	縦36.7×横26.3			滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場
資料 23	日本貿易振興会・ 日本産業デザイン振興会	図録「日本優秀デザイン商品推進事業 (マルテ)」 アトランティックシティチャイナ・アンド・グラスショー (アメ リカ)	1967-1968-1970・ 1971-1972	B5 (26.3×18.5) /5冊			滋賀県工業技術総合センター 信 楽窯業技術試験場

<Section 4> 出会いと交流のなかで-育まれた新たな息吹

No.	作者	作品・資料名	制作年 (代)	寸法 (cm)	画像	備考 (付属資料ほか)	所蔵者
73	丸伊製陶 (デザイン=船田慶市郎)	命立て	1960s	高44.0×口径22.8×底径14.8		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記 録』	多治見市美濃焼ミュージアム
74	小島太郎	ペンダントランプ	1960s	高50.0×径20.0		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記 録』	多治見市美濃焼ミュージアム
75	尾崎神山 易久陶房・神山易久	トン (ガーデンアクセサリー)	1962	高27.8×口径45.0×径径36.3×底径25.4		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記 録』	多治見市美濃焼ミュージアム
76	陶山窯・西尾春朗	丸皿	1966	高2.4×口径19.7×底径13.5		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記 録』	多治見市美濃焼ミュージアム
77	寸越窯・神山清子	縁々皿	1963	高2.5×幅13.2×奥行13.0		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記 録』	多治見市美濃焼ミュージアム
78	寸越窯・神山清子	小紋皿	1963	高1.3×幅15.1×奥行15.2			滋賀県立陶芸の森 陶器館
79	中野窯・鈴木茂至	一輪生	1968	高19.2×口径2.9×径径16.4×底径7.5		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記 録』	多治見市美濃焼ミュージアム
80	大谷司朗	白萩柏香/織部柏香	1963	高25.5×径20.0/高27.5×径20.0			個人
81	豆陶房・笠山忠保	花筒	1960s	高32.8×口径14.0×径径9.9×底径9.9		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記 録』	多治見市美濃焼ミュージアム
82	滋賀タイル 陶陶房 (デザイン=熊倉清吉)	陶板 十二支 (申)	1979	高19.4×幅19.4×奥行1.5			滋賀県立陶芸の森 陶器館
83	丹云窯 (制作=加藤文平)	小花瓶	1960s	高13.6×口径1.4×径径0.6×底径8.5×底径3.8		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記 録』	多治見市美濃焼ミュージアム

84	川崎陶器 (デザイン=鈴木治)	織部花入	1970s	高14.4×口径5.0・4.4×幅10.9×奥行9.9		専用紙箱 花入、名刺	個人
85	川崎陶器	マグカップ	1960s	高9.0×口径・幅10.0×奥行7.0×底径5.7		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記録』	多治見市美術館ミュージアム
86	森三陶房・小川真三	灰釉五角形皿箱	2005	大皿=高3.2×幅36.6×奥行34.6/ 高2.8×幅19.0×奥行17.6			滋賀県立陶芸の森 陶芸館
87	れいさい工房・広川純	鉢セット	2004	高17.4×径36.0/高17.0×径22.0/高12.0×径26.5			滋賀県立陶芸の森 陶芸館
88	俣月寛・宇田清	瓶徳利	2012	高14.8×幅9.0×奥行9.7×底径4.5			個人
89	森高京・高橋春香	湯呑	1960s	高8.6×口径7.7×径8.6×底径5.7			多治見市美術館ミュージアム
90	森高京・高橋春香	四方皿	1974	高2.2×幅・奥行14.3×底8.0・7.4			多治見市美術館ミュージアム
91	攝村哲・川口雄司	Pitcher & Ice Pail	1977	Pitcher=高22.4×口径6.5×幅10.6×奥行9.3×底径7.3/Ice Pail=高12.2×口径8.3×幅15.7×奥行12.6×底径11.2		第21回陶磁器デザインコンペティション入選作(次点)	個人
92	滝宮神山易久陶房 (デザイン=神山易久)	「縁抜き」シリーズ	2022 (デザインc.1969)	カップ=高7.5×幅12.0×奥行8.0/ソーサー=高2.0×径15.2/ポウル大=幅24.5×奥行24.5/大皿=径28.0			個人
93	墨新製陶所 奥田正男	灰皿スタンド	1960s	高51.3×口径16.0×径27.4×幅15.0×底径29.8		『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記録』	多治見市美術館ミュージアム
94	川崎美研 川崎千足	造形傘立	1970s	左(チタン粉)→高44.0×幅34.5×奥行26.0 右(天目粉)→高64.0×幅26.5×奥行24.5			個人
95	丸伊製陶 (制作=奥田高弘)	室内照明具	1960s	高30.0×口径19.2×底径19.8		電球・ソケット・電源コード(スイッチ付)、 『20c後半の日本陶磁器クラフトデザインの記録』	多治見市美術館ミュージアム
資料 24	記録写真	有陶会展会場風景	c1957-1960				滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
資料 25	日本陶器製造センター	報告書『輸出陶磁器デザインコンクール』	1957-1989	B5 (26.3×18.5) / 26冊 (23冊・3冊)			滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場/個人

<Section 5> ニューノーマル時代の(やきもの)と暮らし

No.	作者	作品・資料名	制作年(代)	寸法 (cm)	画像	備考 (付属資料ほか)	所蔵者
96	俣月寛 宇田清介	船形ティーセット	2022	ポット=高10.7×幅16.2×奥行11.7×底径6.1 カップ=高6.8×幅12.1×奥行9.8×底径4.4 ソーサー大=径20.0、ソーサー小=径13.2			個人
97	安見工房	船形線刻シリーズ・メルヘン	2022	インスタレーション ボトル4・蓋物4・きりん1・カバ2			個人
98	宇野有敬	Vision	2021	ポット=高14.4×幅19.0×奥行11.2、ポウル大=高8.0×口径12.3×径13.0×底径5.7、手付カップ=高10.5×幅12.1×奥行8.5、皿=高2.5×口径24.2・22.4			個人
99	大谷哲也	ドリッパー&サーバー/マグ/椀子鉢/銅圓鉢//ポウル	2022	ドリッパー&サーバー=高16.1、マグ=高7.0×幅11.5×奥行9.2、椀子鉢=口径20.7、銅圓鉢=最大径30.0、ポウル=高8.6×口径13.4、高10.2×口径13.0			個人
100	山田洋次	文字のスリップウェア (レッドウエア・焼締め)	2022	大=径23.0、中=径20.0、小=径10.0			個人
101	古谷章幸	ハレとケの間	2022	インスタレーション -徳利1・皿4・蓋3・片口1・湯呑茶碗1・碗1・箸置3			個人
102	藤原 尚	「Heart」シリーズ	2022	杯=高8.1×口径6.0×底径5.0、皿大=幅30.0×奥行14.5、皿中=幅18.0×奥行11.0、皿小=幅11.0×奥行6.0			個人
103	古谷朱里	イロイロ	2022	インスタレーション -ピッチャー6・カップ&ソーサー3・カップ10			個人
映像 1	信楽まちなか芸術祭2021 アーカイブ部会	アー スライドショー - 信楽の風景 - 1970年代を中心に	1970s			[写真提供] ルイズ・アリソン・コート	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
映像 2	信楽まちなか芸術祭2021 アーカイブ部会	インタビュー Archives of the Region 1960-1980s - 情熱と活気に満ちた産地のあの頃	2021	18分 ~川崎千足・神山易久・大谷哲也・西尾千秋		[映像提供] SIGARAKI MANIA	信楽まちなか芸術祭2021 アーカイブ部会

■アンケート集計結果

入館者数	5, 363人(1日平均64人)		
会期	2022(令和4)年3月5日(土)～6月9日(木)83日間		
回答者数	118人		
回答率	2.2%		
年代	10歳未満	10人	8.5%
	10代・20代	26人	22%
	30代・40代	19人	16.1%
	50代・60代	35人	29.7%
	70代以上	27人	22.8%
	未回答	1人	0.8%
住所	滋賀	51人	45%
	京阪神	38人	33%
	奈良・和歌山	4人	4%
	東海	12人	11%
	北陸	1人	1%
	首都圏	3人	3%
	関東・甲信越	3人	3%
	中国・四国	1人	1%
展覧会評価	大変満足	51人	43%
	満足	48人	41%
	普通	17人	14%
	やや不満	1人	1%
	不満	0人	0%
	無回答	1人	1%
再来館	思う	102人	86%
	思わない	9人	8%
	無回答	7人	6%
目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	59人	43%
	陶芸の森のイベント	17人	13%
	作陶体験	0人	0%
	陶器の購入	22人	16%
	旅行社ツアー	1人	1%
	MIHO MUSEUM	5人	4%
	学校行事	2人	1%
	その他	27人	20%
	無回答	3人	2%

陶芸館ギャラリー企画展

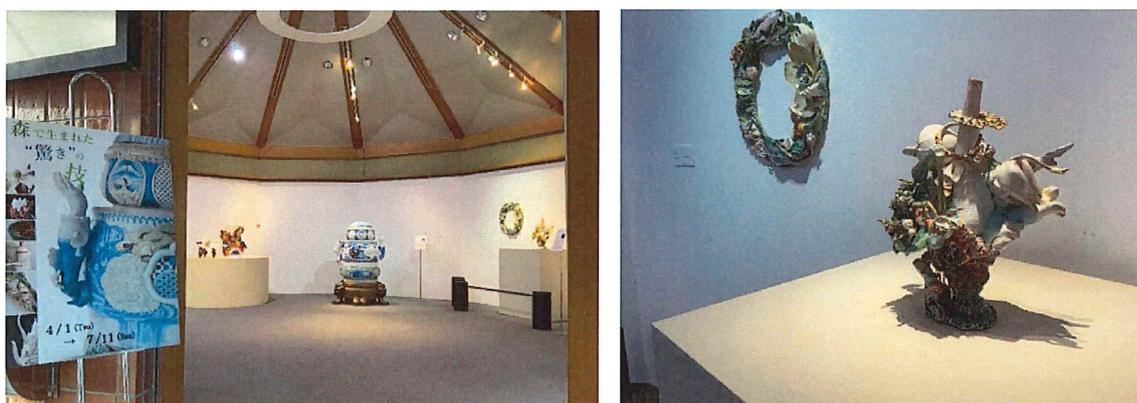
森で生まれた驚きの技

■趣 旨

県立陶芸の森陶芸館は、やきもの文化の伝統を踏まえつつ、未来を見据えた国際性や現代性をそなえた美術館を目指しています。日本・海外の現代陶芸と滋賀ゆかりの陶芸、そしてクラフトと陶磁デザインを収集方針の柱にコレクションの充実に努めてきました。

近年、明治時代の輸出陶磁にみられる華やかで精緻を極めた装飾表現が「超絶技巧の美」として、大きな注目を集めています。また今日では若い世代を中心に、「装飾」をテーマに独自の表現を展開する作家も多く、現代陶芸を象徴する大きな潮流になりつつあります。

本展では、近年新たに収蔵された作品を中心に、現代の「驚きの技」をご紹介します。時代を超えた技の競演！同時開催の「神業ニッポン 明治のやきもの」展とともに、新旧の超絶の技に迫りました。



■会 期 令和3年4月1日(木)～7月11日(日) (58日間)

※ 休館日 月曜日、陶芸館展示替えのため、6月8日(火)～27日(日)休館

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■出品作家 徳丸 鏡子、杉浦 康益、松田 百合子、大石 早矢香、榎本 佳子、鈴木 秀昭、原 菜央

■作品点数 10点

■観 覧 料 無料

■入場者数 5,097人(一日平均 88人)

■掲載記事(新聞関係)

5月16日 京都新聞 情報ワイド「装飾、過巻くエネルギー／現代日本の2
若手作家×学芸員が語る(上)」

5月23日 京都新聞 情報ワイド「ワグネル釉下彩で色に幅／現代日本の2
若手作家×学芸員が語る(下)」

「森で生まれた驚きの技」作品リスト

No.	作家名	作家名 (英語)	作品名	作品名 (英語)	サイズ(cm)	制作年	技法
1	徳丸 鏡子	TOKUMARU, Kyoko	Teapot square	Teapot square	高(H)32×幅(W)19.0×奥行 (D) 7.8	2007 (平成19)	磁土／轆轤／手びねり
2	大石 早矢香	OISHI, Sayaka	Accessories	Accessories	高 (H) 45.5×幅 (W) 35.0×奥行 (D) 19.0	2018 (平成30)	半磁土／手びねり／石膏型／下絵・色化粧・施釉・金彩(上絵)
3			0	Zero	高 (H) 56.0×奥行 (D) 14.0×幅 (W) 56.0	2018 (平成30)	
4			1	One	高 (H) 58.0×奥行 (D) 14.0×幅 (W) 58.0	2015 (平成27)	
5	原 菜央	HARA, Nao	祝☆Myself	Applaud Myself	高 (H) 144.0×奥行 (D) 94.5×幅 (W) 87.0	2018 (平成30)	磁土・陶土／轆轤／手びねり／鑄込・彫り／下絵(染付)、上絵／施釉
6	松田 百合子	MATSUDA, Yuriko	雷と不二さん	Lightning and Fuji-san	高(H)65×幅(W)55.0×奥行 (D) 20.0	1996 (平成8)	半磁土／手びねり／上絵(色絵、金銀彩)
7	杉浦 康益	SUGIURA, Yasuyoshi	山法師の花	Japanese dogwood flower	高 (H) 39.7×幅 (W) 45.8×奥行 (D) 40.4	2018 (平成30)	陶土／手びねり／施釉
8	梶本 佳子	MASUMOTO, Keiko	馬/壺	horse/pot	高(H)161.5×幅(W)101cm×底(B)60	2011 (平成23)	陶土／轆轤／手びねり／鑄込・彫り／下絵(染付)、上絵
9	鈴木 秀昭	SUZUKI, Hideaki	金銀彩 Cosmic Nest	Dish with sunlight motifs, Overglaze Gold and Silver	高 (H) 12.0×奥行 (D) 25.0×幅 (W) 28.0	2019 (令和元年)	磁土／石膏型／手びねり／上絵(色絵、金銀彩)
10			色絵金銀彩光彩大皿	Decoration of Gold and Silver Cosmic Nest	高 (H) 4.5×径 (D) 30.5	2019 (令和元年)	磁土／上絵(色絵、金銀彩)

滋賀県立陶芸の森陶芸館